学年通信 わんぱく PART2

板中3年 4月15日(月) 11号

先生方がよおけ「あゆみ」出してくれるから、いっぱいたまって、なんでも11号はあゆみ特集です。

あゆみより

※今日大森さんと職員室に行ったら佐野先生の机の上に阿部先生と玉田先生の結婚式の招待状を見つけました。私が初めてウワサを聞いたのが冬休みぐらい。そしてもう式まで一ケ月を切っています。時のたつのは早いなあと感じました。当日は、もちろん只談ですが「陸上部で式場にのり込もう！」なんて言ったりもしています。

⇓ ほんとに早いね。あと二週間ちょっと。しかし阿部先生はそんなそぶりも見せずに仕事している。さすがです。ラニバンで、式場にのりこむというのはおもしろいなあ。おもしろがってはいかんが、おもしろい。すばらしい式になるだろうと、たのしみにしている。着物、着ていく人もいるんでしょう、ネ。

※今日の教室はアホみたいにむずかしかったです。あっアホは私の方が。時間もないし、むずかしいし、あせってこんなやつしらん。

⇓ こんな「やつ」の「やつ」というのは、自分のこと？それともテストのこと？

※今日一年生が部活にきていました。三年生もまだ入くそなくせして、一人前に一年生に何か言っていました。その様子をみていると「自分も一年前はあんなんだったんだろうな。その時の先輩の目、今のぼくのように見ていたんだなあ」と思いました。なつかしいようで、ちょっぴりてれくさい感じがしてしまった僕でした。

⇓ 歳をとって（といえば、ちょっと大げさだが…）わかることは多くある。

ちょっと見方を変えて、今お父さんやお母さんが言ってくれていること、していることを、そういう意味で考えてみることも大事なんだろう。

※最近はいつも毎日がとても新鮮です。なんか春というせいもあるのだけれど毎日が楽しくてたまりません。だから私は一日一日を新しい気持で過ごしていこうと思います。

⇓ 毎日が楽しいというのは充実している証拠。

※今日は身体測定があった。テストもあった。私のいちばんきらいな身体測定。特に体重。上にのる時の恐怖感。みるのもいやな体重計にのるのはとても勇気がいることでした。体重は…すごーく重かったです。やせようと思います。

⇓ 女子は、体重は気になるらしい。しかし、先生からみたら、いこも気にせんでいい子まで気にしとるから、わからん。ヘタにダイエットなんかしたら病気になるよ。

※今日、昨日と部活見学の一年生がたくさん来て、練習中緊張し熱が入りました。そして三人か四人入部届けを出したらしく、「来週から毎日練習に行きます。」と言っていました。少しでも入る人がいるから、うれしいし、楽しくなりそうです。

⇓ 新入生の前では、ヘタなとこう見せんと思うから、どうしても緊張する。入部して二、三日すればすぐになれるのに、いっきりエエカッコもして下さい。上達のひとつのひけつでもある。

※この頃やっと三年生になったという実感が少しだけしてきたように思います。3Bは生活的にもとてもおもしろく明るいクラスで、スポーツもけっこうだと思います。この頃少しずつ日々が充実してくることができてきました。今少し後悔しているのは、二年の時にもっともっとまじめにしておくんだったと。今少し後悔しているので三年生では悔いのないようにまじめに何事にも積極的に取り組めるようにしたいと思います。優柔不断という自分の欠点ともゆうべきものがまだ少し残っているみたいだから、はっきり決断力というものを三年生で育てていきたいと思います。そして、今日一日、一時間一時間を少しずつ振り返ってみると、一時間目は国語のはずだったけど、この頃の異常気象で先生もまいってしまったのか休んでいて理科になりました。ぼくは三年生はまじめで通すつもりだから授業中も今までより一層まじめに取り組んでいくつもりです。理科は聞いて少しでもわからないところがあったら聞こうと思っているんだけど、そこはどんなことがあっても活発な井上さんには負けてしまいます。だから、ぼくも、もっともっとまじめにより一層の活発さというものを作っていきたいと思ってます。

⇓ その決意を一年間持ち続け頑張っていこう。

※今日教室に花をもっていきました。私は花が大好きで、世話をするのも好きです。だから家にもたくさんあります。二Cの時も花係を阿部さんとやっていて、毎日欠かさずに教室に飾られていました。だからこの組でもそうなるといいなと思います。

⇓ 春はどこをむいても花ばかり。本当にきれいです。どの教室もまだ花にまで手のまわりかねているところがあるが、そのうち花が飾られるようになることだろう。教室全体を常にうつくしておきたいものだ。

学年通信 わんぱく PART2
板中 3年 4月 16日（火） 12号

急に初夏みたいになった。
つい一週間前までセーターを
着ていたような気がする。

独り言

※この土日に陸上記録会があった。板中陸上部も参加し、香美君が一位になっている。阿部先生の話では、二位と百M近く差がついたので記録としては今一つということである。それにしても新浮年早々、今年の三年の頑張りを予測させるような活躍である。その他にも、慣れないハードルにいどむ人など各々に頑張った。暑い日だったから、ほとんどの人の顔が日焼けしていた。あとに、どんどんと続いていてほしいと思う。

◇県総合陸上記録会（13、14日、鳴門陸上競技場一位記録）
【小学男子】▽百m　赤尾典彦（市場）14秒5▽四百mリレー　市場（三橋、高村、吉岡、赤尾）62秒5▽走り幅跳び　安芸好孝（板東）4m28
【同女子】▽百m　上原まゆみ（市場）15秒4▽四百mリレー　市場（鶴野、横山、上原、難岡）63秒5▽走り幅跳び　桜井真理（板東）3m33
【中学男子】▽二年百m　豊内彰弘（北島）12秒1▽三年百m　斎藤満（大麻）11秒8▽三百m　仁木真澄（瀬戸）24秒1▽四百m　大倉田洋一郎（全岐）54秒4▽八百m　黒崎孝行（城西）2分7秒7▽千五百m　香美勝則（板野）4分40秒5▽三千m　深見貴宏（鴨島一）9分30秒2▽百十m障害　増本喜敏（小松島）17秒0▽八百mリレー　北島（水本、七条、豊内、篠色）1分37秒0▽走り高跳び　幸津博（城西）1m40▽棒高跳び　前田哲太（大麻）3m50▽走り幅跳び　岡本直也（羽浦）5m88▽三段跳び　高田雅也（鳴門一）12m15▽砲丸投げ　斎藤雅信（徳島）13m05▽円盤投げ　根本恭宣（城西）36m60

※徳新には、14日に載った。情ないことに先生は見落していた。15日浮校へ来ると、佐野先生が「先生、香美君の新聞、ねんりんに載せてよ!!」と、いがりまくる。さすが担任の先生と感心した。きのう、すぐに見つけて、今日は言おう、と思っていたに違いない。うれしいなあと思う先生でした。先生はまだ日ができてないと反省です。

あゆみより

※今日 阿部先生がハードルのとび方を教えてくれました。

すごくむつかしいです。あと半年しかない中学校での部活、気をひきしめてがんばっていきたいと思います。こんど転校してきた子もハードルをしているので、いろいろないい所をまねしていきたいです。⇒人のまねというのは大事な。どこをまねるかということでその人の考えが出るし、人のマネを寄せ集めることによって、自分のものができあがる。しっかりいい所をマネせえ。ハードル、しっかりやれ。阿部先生も期待しておる。

※今日学校に行く途中ヘルメットをかぶってない子がいた。一年か二年か三年かはしらないけど、その子らのせいで、ぼくら全員おこられるのですっごく腹立った。⇒互いに注意とあってほしいねー。ひとつ「怒られるから」という次元から脱皮して考えてほしいものだ。三年生がきちんとできないことには話にならん。がんばろう。

※今日学校の帰り用水を見るとオタマジャクシが15センチくらいになっていた。道を見たらタンポポが咲いていた。もう春だなあと思った。⇒今はどこを見ても花がいっぱい。白、黄、ピンクとだんだん色が濃くなっていく。桜も散って、もう葉桜。早いものだ。オタマジャクシは、もう長い間見ていないような気がする。

※今日の身体計測で身長があまり伸びていなかった。そのくせ座高は少し伸びていた。このままいくと、胴長、短足になるのではないかと心配だ。⇒身体計測をするというような悩みや心配事がでてくるもんだ。

しかし、いくらなんでも伸びた分がすべて胴にまわったなどということはないでしょう。来年は足ばかり伸びるかも知れん。

担任紹介 三D

後藤田寿子先生

板中二年目の先生には、今の三年生は2/5が昨年英語でお世話になった。今年は、昨年の担任が四人義ったなかで、ただ一人新しく加わったから、最初、とまどいや異和感があるしじゃ…と思ったりしていた。何せ、例のバカ話の達人ばかりの中にとび込むのだから、目をむいてあたり前と思っていた。ところがこの一週間、まったくそれがない。ずっと一緒にやってきた以上のものがある。まさに水を得た魚のようである。左隣の先生ともキャッキャッやっている。素質があったんですネ。

小浮生の子供さんが二人。（男の子と女の子だそうです。）お母さん先生らしく、きめ細かくやさしく、そして時には厳しく、みんなを見守ってくれることだろう。何度も三年担任の経験のあるベテラン。昨年も書いたが「寮として」という言葉が似合う。土成町より車で通勤。歳は、仁木先生より下で佐野先生より上。テーマソングは未定。

3D

1	池田　真司
2	犬伏竜太郎
3	岩下　方大
4	久次米将樹
5	久次米芝典
6	鴻池　淳哉
7	酒井　渉
8	坂田　淳司
9	清水　芳幸
10	新杉　義博
11	高原　康弘
12	土内　哲治
13	長谷川真士
14	板東　良夫
15	松長　義則
16	松本　章
17	三木　克彦
18	山内　修二
19	和智　竜夫
20	
31	稲富　里奈
32	浦本　杉子
33	大川　裕子
34	大道　仁美
35	岡　亜紀
36	藤本　香織
37	桑内　一恵
38	酒井　智美
39	佐藤美穂子
40	佐野　光代
41	鈴江　晃子
42	竹内　由佳
43	富永　美紀
44	中川　理恵
45	藤村　和子
46	堀江　恭代
47	水口　和美
48	吉川　恵子
49	
50	

学年通信 わんぱく PART2

板中3年 4月17日(水) 13号

今日から家庭訪問、担任の先生いなくても そうじ はきちんとすること。

あゆみより

※そうじの時間、私たちの班、廿六人はカマを持ってそうじ場所へ集まりました。まきに「鬼に金棒」!!「廿にカマ!!」。木の枝を切るのが楽しくて、バサバサと切っていました。これ以上こわいものはないでしょう。

⇓ ほりゃこわい。気をつけて切ること。まちがえ人を傷つけたりしたら大変だ。

※今日じゅくで終わりの方に一年が英語のカルタをさせてもらっていた。ぼくもやりたかったが三年生はさせてもらえない。それにてもホテルとかペットとか、へんな単語ばかりだ。おかげで最後の方のテスト勉強がはかどらなかった。⇓ ちょっと考えすぎみたいな気もするが、英語も内容がみんなに興味のあることだったら成績もあがるだろうなあ。後藤田先生に頑んでみい!

※今日は久しぶりにお母さんと外に散歩に行きました。ふだんあまりお母さんと一対一で話さないので、のんびり歩きながら学校であったいろんな事をたくさんしゃべりました。また、時間があれば散歩したいと思っています。⇓ いいですね、そんな時間がもてるのは。きっとお母さんも同じ思いでしょう。

※今日は一日中美術のオルゴールをしました。でもできあがることはできませんでした。春休みに頑張ってやればよかったとすごく後悔しています。やっぱり提出期限はぜったいに守らなければなりません。これからは、きっちりを絶対破らないよう頑張ります。⇓ 考えてみれば、先生もいつも「あの時、もっとしておけばよかった」という同じ反省ばかりくり返しているような気がする。提出物については、三年生は特に期限を守ってもらわねばならないものが多くなります。厳守です。

※朝テニスに行って練習していると副顧問の北岡先生が来てくれました。私達が練習しているといろいろアドバイスもしてくれたり、いっしょに練習したりしました。先生はすごくうまかったです。瀬尾先生がいてくれない分、北田先生がいろいろ教えてくれたら百人力だなと思いました。⇓ 先生方もいてくれなかなか出られなくて、すまんと思う。北田先生も時間のある限りでてきてくれるだろう。気合入れて頑張ろう。

今日から家庭訪問です。

よろしくお願いします。今日明日は、三年生は午後は授業・行事はありません。部活のない人は、家に帰って家の手伝い、勉強に精を出すこと。悪さはいけません。

※今日は朝九時からいつもどおり柔道の練習がありました。その時富加見先生とあと二人ゲストが来ていました。それは小さな富加見先生の子どもでした。姉と弟で僕達が柔道をしている時、ずっとあそんでいました。かわいらしい子でした。⇓ 富加見先生に似たらかわいいでしょう。かわいい二人をいろいろ・・・。奥さんに似たら、もっとかわいいでしょう。かわいい二人をいろいろ・・・。泣かさんように。

※今日、職員室のろう下で友達を待っていると二年生の時担任だった森口先生に声をかけられました。その言葉の中には、いつも「がんばれ」の一言がでてきます。私はその言葉を聞くと、とてもうれしくなります。⇓ 森口先生は、今年も又頑張っている。頑張っている人から出る、はげましの言葉は力強く、説得力がある。先生のくれたエネルギーを自分のものとして頑張っていきたいものだ。

※今日ようやく理科のテストがかえってきました。もう見た瞬間"目が点"でした。まあ、あんだけ勉強してないんだから仕方ないかと思いながら、どうしてあの時カセットなんて聞いたんだ!!どうしてあの時マンガなんて読んだんだ!などと後悔しています。で最近、私の変な性格を発見しました。他の友達は「好きなとこ、うまいったら絶対成績上って、次なくされたら、ごっつい下がる」とか言ってるけど、私はばかー態度とられたら、もうトコトン腹が立って「何よおっ」みたいな感じで勉強して成績なんてすごく上がってしまいます。好きでもない男でもね、何か最近、キーパーはかいいことがおこってくれません。好きな子もいないし、「変なとこで負けずぎらいやなあ」とか言われました。⇓ コメントしたいがスペースない。

※これは英カテストの英語の解答ラニへの落書き。ご存知のさん。

1〈発音〉

資源ゴミ回収のお知らせ

☆ 日時 4月18.19.20日

に実施するので、1人1回はご協力ください。

お笑いサラリーマン も黒 福太郎

学年通信 わんぱく PART2

板中3年 4月17日(水) 14号

今日(17日)は2号出して共にあゆみ特集。これで、たまっていたあゆみがほとんどさばけた。

今年は初めから、担任の先生方から「あゆみ」がポンポン出てくる。ボソにもしにくいので、のせてくと、日に二枚になることもあるが、しっかり目を通して下さい。まさか、先生方、今年は、四百号までなどと考えとんであるまいなあ…?

※今日のテストの点はすごーく悪くて エベレストから転げ落ちて血まみれになりそれを怪獣に食べられてしまい川へ流されたという感じになりました。母に「今度がんばるから」と言ったら「それを今まで何回聞いたことかと言われてしまいました。本当に今度はマジにがんばりたいです。⇒先生も子どもから、いつも聞かされている。考えてみたら、「次はガラケルから」というのは絶対ないもんなあ。次のテストは五月の連休あけです。

※このノートに理科は百点がとれるような気がするなんて書いてしまったけれども、百点とれませんでした。先生が書いてあったように見直しが大切ということがわかりました。あそこいると思ったところがまちがっていました。ショックです。⇒よくあることだ。担任の先生の言われるように、できればとにかく見直し。

※最近は部活がとても楽しいデス。新入生を見ることができるからと、汗を気持よくかけるからデス。新入生には結構友達も何人かいて、帰りに会ったりすると「あんちゃん(あゆみちゃん)バイバイ」とか「先輩さようなら」って声をかけてくれたりするので すごく気持がEーです。返し文句は「気をつけて帰りよ」ですケド。あいさつってすごく気持ちEーですネ。感動します。

⇒ほんとうにあいさつって大事です。「おはよう」「さようなら」「お願いします」「お世話になりました」君たちは数文字の言葉が毎日の生活をたのしくする。みんな大きな声であいさつしていこうではないか。

※今日県の総合記録会に行った。ぼくは千五百Mに出た。三組に分かれていて、ぼくは三組目だった。一組二十人くらいだから、全部で六十人はいたと思います。一組目、二組目の一位の記録が四分四十秒台だったからすこし気が楽になった。それは勝てる!!と思ったから。その思いのとおり一位になりました。すごくうれしかった。これからもいろいろな陸上の大会に出たいなー と思いました。

⇒これは真美君のあゆみ。おめでとう。これがスタート。すぐ一位の座を保つのは大変な努力が必要と思う。絶対に頑張りぬいて欲しいなあ。

4月15日。今、僕は柔道のことが気集めている。内ようもいいのでけっこう気にいっている。「山嵐」とか「球車」とか「空気投げ」などが出てくる。でも本当にこんな技できるんかいなーと思いながら見ている。

「YAWARA」の主人公さんにも"アンドウトラ"で勝つのだから、なかなかマニガのようにはいかんだろう。まずマニガのようにはできんでしょう。森口釜どうですか?

※三年生が始まってはやいもの、一週間がすぎました。授業も普通授業になり一年生、三年生のときより授業を集中し悲しいことつらいことがあったとしても自分を弱い方へもっていかないようにし努力する方へ進んでいきたいです。今週も授業に集中し一日一日がよい日であるように頑張っていろいろなことを取り組んでいきたいです。

⇒今のみんなの勉強で一番大切なのは授業、授業ほっておいて…という。のでは本末転倒。

※今日は夜遅で夜"ぶじょし"におすしを食べに行った。すーごいすーごいすーごいいっぱい食べたので、おなかがすごくせこかった。帰ってうんこをしようと思ったら出んかったんで、なんか不安になってきた。お母さんに言ったら「へんなこ」って言われた。それからちょっと苦しくていた。

⇒この「あゆみ」はなのこ、いつもなかなかリアルなあゆみを書いてくれるんです。遅事に困るがたのしい。今日学校で、命のため聞いてみたらしっかり出たそうです。

※今日社会で公民をやりました。憲法なども暗記するために目をとじると、しばらくねてしまいました。今日はそもそもボカボカしていたし、森口先生の声があまり大きくなかったのでうとうとしてしまいました。太陽のポカポカ、風邪はそよそよ、クマさんの子守り唄もきこえ、まるで森の中にいた気分でした。でもこれではいけないと五分後必死で憲法を覚えました。もう三年生なので一時間一時間も授業を大切にしなければいけないので反省します。⇒このあゆみを見てすぐ頭に浮んだのが"ある日 森の中 クマさんに出会った…花咲く森のなかを クマさんに出会った"という歌。森口先生知ってますか?

学年通信 わんぱく PART2
板中3年4月18日（木） 15号

家庭訪問，お世話になります。お気づかいは無用ですので，よろしく。

あゆみより

※今日朝から部活に行きました，副顧問の北岡先生がきのう，今日二日来てくれました。先生はテニスもやっていたようでものすごく上手でした。それと先生とも試合もしました。やっぱり先生が毎日来てくれたりとってもうれしいです。⇒きもちよくわかる。そうだろうと思います。しっかりがんばってくれ。ここで，又とても

【おわびと訂正】
13号で，北岡先生が北田先生になっていました。北岡先生すみませんでした。おわびして訂正です。校長先生が「ワシ，校正係」と言いつつ指摘してくれました。

※今日板野町民公民館でぼくは板野町のスポーツ大賞にえらばれたから行ってきた。こうつい緊張したけど半面以上うれしさでいっぱいだった。⇒

このスポーツ大賞は――
昨年一年間の活躍に対して板野町体育協会より表彰されるもので，昨日（16日）に表彰式がありました。
板野中三年生から
・近藤 充省（柔道）
・池田 真司（〃）
・久保 耕一郎（テニス）
・中川 益教（〃）
の四名がえらばれたものです。

今年も又昨年度以上の活躍が期待されているともいえる。文武両道の精神で頑張って欲しい。

※野球に行って今日はめったにいかないバッテング，ピッチャーをしました。最初は調子がよかったけど三人目ぐらいからバテてきて球が一Fへ行ってしまってガラスが割れてしまいました。そしてそのバッターがA君でAは逃げてしまったので，ぼくも逃げました。すると先生がきて学校がガラス代払うけんなと言ってくれたので助かったと思いました。Bが変なあゆみを書いています。信じないで下さい。⇒そんなときは逃げていいし，逃げたらいかん。故意じゃないし部活動中のことだから，そんなこともある。逃げたりしたらガラス割ったことよりもそのことでおこられる。Aと二人で逃げているところを想像したら，思わず笑ってしまった。それにしても一Fまでそれるとは……。

担任紹介 三E

阿部憲作 先生

遂に，阿部先生も五月三日は，めでたくゴールイン。考えてみればもう二週間ほどになった。うれしいだろうなー。ワクワクしてるだろうなー。夜もねれんだろうなあー…と思うのは，まわりだけで，本人は案外冷静なもの。といってもいろいろと忙しいもので，体調を崩すことのないように気をつけていてほしいもの。

とにかく陸上にかける情熱はすばらしい。今も遅くまでグラウンドを走る生徒のまわりに必ず先生がいる。陸上というのはそう簡単に成果の挙がる種目ではないが，昨年度も着実に成績を伸ばしている。今年も又楽しみである。又同和問題学習にかける情熱もすばらしい。生徒のみんなの前に自分の生き様をさらし，語るなかから，一つの道を追い求めているように思える。極めて正直だから，自分の思いを語るときに相手に対する説得力がでてくる。（もっとも正直すぎて，ある人に，玉田先生とのなれそめ等をすべて話しさせられたということもあるらしいが……）

今年は先生にとっても一つの節目の年になる。おそらく今まで以上に燃えて燃えて燃えまくるだろう。この場合はいくら近づいてもヤケドはせん。しっかりついていくことだ。今は上板から通勤だが，結婚されたら住居も変わる。その時は改めて連絡します。

Happy Wedding. Mr. Abe !!

3	E	
1	犬伏	一仁
2	上田	博文
3	大西	弘記
4	岡本	弘樹
5	近藤	大
6	佐藤	元通
7	佐野	貴之
8	柴田	健一
9	瀬川	一宏
10	滝本	元
11	富原	一晃
12	長尾	憲二
13	長坂	薫
14	西川	幸治
15	二條	健次
16	根ケ山	拓也
17	林	秀和
18	三原	進也
19	吉川	朋秀
20		
31	石川	敬子
32	漆原	理恵
33	岡田	真紀
34	岡本	裕美
35	小川	美香
36	斎藤	美幸
37	茂美	詠子
38	高富	由佳
39	高原	里佳
40	東條	和海
41	東條	裕子
42	長崎	紀子
43	樹井	恵子
44	増原	洋子
45	水口	千代美
46	三宅	里下子
47	森	真由
48	吉田	裕子
49		
50		

学年通信 わんぱく PART2

板中3年 4月19日(金) 16号

寒かったり、暖かかったり…。山が新緑に飾られはじめた。

独り言

※毎日忙しくバタバタしていたが、今、日本のニュースの中心はゴルバチョフソ連大統領の来日にある。16日に来日した大統領の行動・発言はマスコミによって刻明に伝えられている。勿論ソ連大統領の来日であり、一つの歴史的な出来事であるが、具体的な成果は、北方四島の問題も含めてどこまであがるか？

中三になって、はじめて「公民」という名で現実の社会の仕組みなどを学習するみんなにとって、むずかしい問題ばかりであろうが、新聞の社会面に一日に十分でよいから目を通して欲しいと思う。

※学習に、部活動に、いい意味での「気負い」が感じられる。大半の人に三年生になったという自覚が感じられる。しかし、気負いすぎて、ややくたびれ気味の人をあるようだ。これからの一年を考えたときこれは、かなりの時間だ。あせってはいけない。一日の進歩はわずかであっても毎日継続すれば大きな力になる。ゆっくり確実に歩いていこう。

※今生徒会の役員が資源ゴミ回収の為、校門で立っている。で同時に大きな声での、あいさつもしている。いわば あいさつ運動 でもある。大きな声で、あいさつをかわしていきたい。先生たちも大きな声で、みんなにあいさつもしていく。気持のいいものです。

あゆみより

【家庭訪問】同じ人のあゆみ二日連続です。

※そろそろ家庭訪問なのでお母さんと一緒に家中の掃除をしました。せまい家なので一時間ちょっとで、できました。二人でハァハァいいながら頑張ってそうじしました。お母さんが、よお頑張ったなあとおこずかいをくれました。そうじをしたあとはとても気持いいです。

※家庭訪問で話すいいネタは私の事をたくさんはめる事です。それが一番のネタと思うけど…。先生お母さんにいらんこと言わないで下さいね。先生カッコいいんだからっ。⇒ 先生は家庭訪問がなくても、カッコいいんですっ…という話はおいといて…やっぱり家庭訪問は気になるもんでしょう。先生達、別にいらんことは言わんけど、気になるところをみると、よほど学校でいらんことしゃべるんでしょう。まあ安心していて下さい。

先生方も23日に家庭訪問しまり掃除しようと思っています。もちろん普段もしているんですよ。

【上の"独り言"で、あいさつのことに触れました。あいさつに関したあゆみ二つ。】

※今日部活に行くと一年生はまだだけど、二年生のあいさつはすばらしいほどよくできています。帰りはもちろんだけど部室に入る前にも言います。とても気持がいいです。あいさつはする方もされる方も、とても気分がいいです。

※今日資源ゴミ回収をありました。ぼく達生徒会は資源ゴミを集めるのを兼ねて「おはようございます」と声をかけています。今までは言っても返ってこない人や言ってから少したって返ってくる人が全員でした。しかし今日一年生の女子がぼくたちが声をかける前に「おはようございます。」と言ってくれました。何かとてもうれしかったです。⇒「おはようで 今日もいいこと ある予感」あいさつでも三年生がリーダーシップをとっていこう。

※三年になって一番に思ったのは、今年も「ゆんりん」あるんかなあーということでした。それで「ゆんりんPART II」を目にした時は少しうれしかったです。去年は あゆみ、なんて書いてなかったし、ゆんりんに自分のことがのったのは陸上の補員のことかぐらいだったけど、今年は あゆみ、毎日書こうと思うし少しでものったらいいと思います。⇒今年も頑張って書きます。去年と違って大事な連絡も多くなるしね。今まで何度も書いたけど、今年は先生方から出るあゆみ がものすごく多い。それだけ、みんなのあゆみが充実している証拠だろうね。自分が思ったこと感じたことをそのまま書いて、自分の為のあゆみをつくればいい。どんどん、ゆんりんにも載っていきますよ。

※今日帰って四時頃にまた人参の手伝いをやらされた。人参をぬくだけと思ったら土が固いところを抜けなくて、くきのとこから切れたりした。そしてだいぶいたなと思ったら今度は腰が痛くなってきた。全部抜いて背伸びしたらすごく気持がよかった。⇒個人的な感想をいえば(まあ、いつも個人的な感想だが)こういうあゆみや、こういう生活はいいなあと思う。こういう好きです。去年も書いたが、家の父母の仕事の手伝いは、親の視線の高さにまであがって物を見、考えることにつながっていく。その経験が多くなっていくことが大人になっていくことでもある。腰の痛さと爽快さも感じるのはすばらしいことだ。

学年通信 わんぱく PART2
坂中3年 4月20日(土) 17号

家庭訪問、ほぼ半分終了。明日は日曜だが PTA総会、授業参観。

スナップ

【まだ三年生になってない!!】

3Cでみんなが給食を食べていた。もちろん先生は前で。そこへ元2Cで今は2のI君が、スタスタ入ってきた。「エッ!?」と思ってみると、「どうしたん?」という顔で教室をうろうろし、自分の机をさがしている様子。途中でハッと気づいてとび出して行った。完全に自分のクラスと思っていたI君でした。さすがに顔がかあかくなっていました。まだ2Cの気分でいたんです。…とはいうものの、「ボス」としていると、そんなことはよくある。三年生は三階なのに気づいたら二階の廊下を歩いていたという先生もあるんじゃないですか。

【聞きなさい!!】

先生方全体の朝のうちあわせが終って、さあこれから三年生の打ち合わせ、ということで、話をしだすと、A先生とB先生が何やらベチャクチャ話しだして、どうも"耳東京"になっている様。「こら! 聞きなさいよ」と注意もうながした先生でありました。「先生、ほら、大きい声で言うたらみなに聞こえるでェー」とB先生。「仁木先生、もう正座させとこ」と教頭先生。どこの三年生の先生はこない面白いんだろ。

【心境の変化?】

佐野先生の髪が↑こんなんから、↑こんなんに変った。どうしたんだろ?「多分、郷主人に何か言われたんン」とかいろいろ言っていたが真相は不明。せんせはどちらがよく似合うと思う?

あゆみより

※明日からはじまる家庭訪問。ぼくにとっては地獄の日々がまた一日一日近づいてくるように思います。

その名誉ぼんかいではないけれどセミナーノートでも頑張り、この三つのテストにうっぷんをはらしたいと思います。⇒地獄とは大げさな。天国とまでいかなくとも、せめて楽園ぐらいの気持で待てるように頑張ってね。

※ぼくのお母さんは料理が上手で、今日は最近、炊きこみごはんをしてくれました。味の方は、うすくもないし、濃くもない、ちょうどの味でした。すごくおいしかったです。⇒このあゆみ、先生のヨメサンに見せて、そのあと、ためいきでもついてみようか。森口先生、一緒にしませんか。

※最近天気が晴れていて、とても暑いです。でも、ぼくはその方が好きです。天気のいい晴れた時は気分もいいし、部活もたのしく思いきりできます。最近は野球部も陸上部もテニス部もがんばっているように見えます。ぼく達サッカー部も天気のいい日をエネルギーにがんばっていきたいです。⇒どの部もがんばれ。今やらにゃやる時ないぞ!

※今朝、学校に花をもっていきました。きのう、女が知り合いの人からいっぱいもらってきていて、あまったので教室に飾りました。バラです。教室のうしろにあるから、あまり目立たないけど、英語の時間、「あらら~、誰が持ってきたんえー、きれいなあ」「ちょっと飾ってあるだけで雰囲気が変わるなあ」と後藤田先生が言っていました。これからも花を持っていく機会があればもっていこうと思います。

このカットは誰がかいてくれたでしょう?

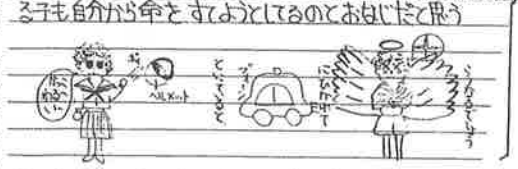
※学校の帰りしな、ぼくが自転車で反対側の道に行こうとしていた。でも車が混雑していたため反対側の道に行けなかった。ぼくが困っていると、車を運転していたおじいさんが(おばあさんもいた)止ってくれて、ぼくに反対側の道に行くように言ってくれた。その時、ぼくは「やさしい人だ」と思った。その後、おじぎをしたら、おじいさんとおばあさんは二コニコしていた。本当にうれしかった。こんなことは、初めてだった。⇒そのおじいさん達、おさるくに余裕がある人。自分のことで一杯で他人のことなんか思いやるゆとりがない。そこで道をゆずるも30秒もかかるわけでもないのに待てない人が多くなっている。よかったね。しても、君のおじぎが又いいのでまっとした相手への思いにする。

◎こういう人が、ふえてきつつあるように思う。うれしいことだ。できてよかったなあ。あたりまえのことが、あたりまえにできることの大切さ。三年生たのみます。

おじいさん達にうれしかった。又ソやりが、心を豊か

4月18日(木)

9年のとき ちゃんとかぶれなかったヘルメットが今は1日中にかぶれている
ネクタイも服装の面でもばっちし。
やっぱり こういうことはできてあたりまえだと思う
ヘルメットをかぶってないのをかっこいいとおもってる子もめんどくさいとおもってる子も自分から命をすてようとしてるのとおなじだと思う



学年通信 わんぱく PART2

板中3年 4月20日(土) 18号

この18号、ひとつ、ていねいに読んで下さい。

連絡……かな？

※早朝学習について

すでに連絡もし、今週月曜日から実施している早朝学習は、参加人数が多いため3Cに場所も移っています。七時二十分頃より七時五十五分頃まで、プリントを中心にやります。これは、補習でもなんでもなくみんなの自習的な学習を先生が手伝いをするというものですから、そして朝早いですから、すべての人にすすめるというものではありません。朝早くおきる分、自分一人で頑張ることが効果的という人もあるわけです。五教科をそれぞれ自分のレベルにあわせてプリントを中心にやるわけだから、計画的なカリキュラムを組んでやっているのではないのです。朝早くきて、一つでも二つでも得をしてくれればーという気持です。冬になっても続けられるかどうか、先生の方が息切れしないか心配なんですが、できるかぎりやってみようとは思っています。参加してみようと思う人は来てみて下さい。しかし、人数は一つの教室に入るぐらいですので、あまり多くなれば制限するかもしれません。様子も見ながら続けていきます。

※オリエンテーションの実施

このオリエンテーションというのは、基本的学習訓練と考えて下さい。つまり、学習時の姿勢、礼、挙手の型、声量、あいさつ、返事など学習や話し合いの基礎になることの訓練です。昨年、私達は、全体学習ということで同和問題学習に積極的に取り組んできました。その結果、すいぶん深く物事を考えることができるようになってきたと思います。充実した話し合いがみられるようになりました。しかし一方においては挙手、返事などまだまだ不十分な点がみられます。幸い今年は同和問題の研究会が本校で二回ひらかれます。これも我に、話し合いの形や内容を一層充実させたいと思うのです。

入試の時は面接があります。この前、3Cで何の説明もなしに、いきなり面接の形もしてみました。

当然ですが、まったくできない。形ができないのです。やはり基本的なことは練習し、訓練し、自分の身につけておかなければだめなわけです。その気になればいつでもできる――とはいかない。まだまだ書きたいことはたくさんあるのですが、とりあえず一番基本的なことも、3Cが全体学習の中でやってみます。それも、たたき台にして、より洗練されたものをつくりあげたいと考えています。普段の授業にも当然応用していきます。3Cの人、はじめてのことで、緊張もすることと思いますが、スターターとして思いきってやってみて下さい。期待しています。

【以上の二点に関するあゆみ】

※朝の学習に行き始めてから、夜はすぐねむれるし、朝の目ざめもよくなって授業中もねむくありません。これからも毎日朝の勉強に行こうと思います。

※私は朝六時十五分ぐらいにおきて、朝の勉強に行っています。そりゃおきるのはつらくないといえばうそになるけど、「みんなおきて学校で勉強するんだ」って思うと、私がねている間どんどん差がひらきそうで、私もがんばって行ってます。今日、仁木先生がカップラーメン食べたりしてついついてちらに目が行きそうになったけど、なんとかやりました。明日も行くぞ。

⇒スミマセン、朝食もとれないことがあるもんで…。しかしみんなは必ず朝食はとってること、朝早いですから一日もたんよ。

※今日6時間目の道徳でC組がオリエンテーションをするということを聞いてびっくりしました。基本的なことだけどやりとできていないことが多いと思いました。返事もろくに立ってすぐできると思っていたけど、手も挙げることもできませんでした。同和問題に取り組むことに力を入れるようになって、今までできていなかったこともできていくような気がします。

⇒一つのことへの真剣な取り組みが他のいろいろな事にプラスになって波及していく。オリエンテーション（OT）をやめ一つだ。

あゆみより

※今ぼくはテニスの選手（小松島大会）にえらばれるために、もっくそに、もえまくっています。今日もさぼらずいつものように行きました。言葉では言表わせないくらいかんばっています。

※今日部室の壁に白のペンキもぬりました。テニス部はまえからぬっていたのでぬらなくていいとおいていましたペンキが手とか服についたらなかなか落ちません。今日中にぬれなかったので、明日みんなでぬる予定です。ペンキなかなか落ちないのでタワシでこすりました。痛かった。

⇒聞くところによると落書きなんかもあったようで、これできれいになった、きれいな壁のまま、後輩にバトンタッチしていきたい。

学年通信 わんぱく PART2

板中3年 9月21日(日) 19号

先生にとっては忙しい一日だが、みんなにとっては、ゆったりに楽な一日だったでしょう。

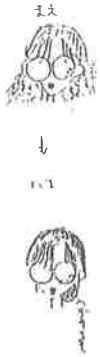
連絡など

※今日は参観日でした。みんなの感想はいかが？帰ってからずいぶんと時間がある。まる普通の日曜日みたいなもんだ。実力テストの発表もあった。部活もある。そうそうボーッとしておる時間はないと思うが意味のある使い方をしてくれ。

※明日はいつも通り。午前中4分の四時間授業。午後は先生方は家庭訪問、三年生は何も行事はない。そして23日は、今日21日の代休。注意は改めて。

あゆみより

※今日見て思ったことだけど、なぜか知らないが佐野先生がきれいに髪の毛をまとめていました。今までは、パッパラパーヘアーだったのにどうしたんでしょうか。そこで私は考えてみました。で結論はもーえーかげんの歳なのであの髪型をやめようと考えた。それが、だんなさんに"その髪型をやめろ!!"と言われ素直にやめたが!!。けど気の強い佐野先生のことだからだんなさんが言っても"うるさいなあ、ほっとて"と言うと思います。いったいなんで髪型をかえたんだろうか……。



※今日も佐野ティーが前とは違ってきれいな髪をしていました。私が二年のときはなんなこの髪の毛!!と思うくらいへんな髪をしていたのに、なんか急にかわって。私は新しい恋にめざめたのかと思いました。

↓この三つのあゆみ、載せるのに勇気がいった。ほんまに、こんな載せてもええんだろうか？佐野先生スミマセン、おこらんとって下さい！元二Aの二人のあゆみですので、みんな注目しているのです。

※今日の六時間目のとき先生方「自主、協同、責任」の意味を言えといわれて自主の意味がわからなかったので家で三つとも調べてみました。

自主…人に頼らないで自分のことは自分でする。

協同…おたがいに力や心をあわせて一緒に仕事をする。

責任…自分が引き受けてしなければならない務め。

ということでした。勉強になったし、これからも覚えていたいです。↓帰って調べたというのがうれしい！これは板中の教訓。板中生である以上、きちんと知っておいてほしい。

※今日の家庭科の時間は4チャクチャおもしろかったです。パジャマも作るので、体の各部もはかってたんだけど、そのモデルにAさんがなって胸囲を「ちちの先」とか言ってポーズをとったりして本当おもしろかったです。↓なんとも……、女の世界ですナ。

※今日から先生と約束した、毎日四時間勉強するということを実行しました。今日は英語、理科そしてあまり勉強したことない教度もがんばりました。勉強していると案外時間がたつのが早いです。三日坊主じゃなくて、三ヶ月間、できたらこれからずっと一生懸命にがんばろうと思います。↓三ヶ月なっていう

担任紹介

六車 和行 先生

昨年同様、今年も又副担任として三年生全体の面倒を見ていただく。初任の先生方の指導の先生として又、学校全体の進路指導を考える進路指導主事として今年も一年間お世話になる。三年間連続してみんなの世話をしてくれるのは先生だけになってしまった。進路指導のベテランだから、三年生の進路について、いろいろと相談をかけることも多くなる。三Dの理科も除いた全クラスの理科も担当していただく。昨年一年間一緒に仕事をさせてもらってその教科指導の熱心なのに驚かされた。実力テストは解答も違えしまうから、先生達にしても得点を知るだけになる。六車先生はみんなも知ってのとおり解答を三つ作り、まず自分でも採点してみんなの弱点をチェックしてくれている。当然みんなの力について実によくつかんでおられる。今の三年生と、六車先生を見ていて表現のしようのない、なんともいえない感情の交流を感じているのは、決して先生だけではない。

志の小さいことでは困るなアー。

※今日、一、二時間目の技術の時間にUFOと宇宙人の話をしてくれました。アメリカやソ連では何千人、日本では百年ぐらいの人が一年間につかれていかれて、又もどってくるということを話してくれました。そして板野町はそれほどやられやすいと言っていました。少しこわくなりました。↓そういえば、みょうな光を見たことがあった。その間しFOについていかれてたんかも知れん。光があるナア。

学年通信 わかば PART2

板中3年 4月21日(日) 20号

PTA学年部会用資料 No1.

年間行事予定

月	学校行事	テスト・進路関係
4	・家庭訪問 ・PTA総会，授業参観 PTA学年部会	・進級テスト ・自主学習スタート ・進路希望調査
5	・遠足 ・新入生歓迎球技大会	・第1回実力テスト ・日本育英会奨学資金締切り ・中間テスト
6	・校内陸上大会 ・郡同和教育研究大会 （全クラス授業公開）	・第2回実力テスト ・第1回共同テスト ・体験学習申込み締切り ・期末テスト
7	・総合体育大会 ・3者面談 ・終業式	・特1回実力テスト ・体験学習スタート ・学習相談
8	・解放文化展作品完成	・学習相談 ・第3回実力テスト ・校内実力テスト？
9	・授業参観、PTA学年部会？ ・郡陸上大会 ・板中祭	・第4回実力テスト ・適性検査 ・職場見学
10	・全国道徳教育徳島大会（公開授業をするクラスがある。）	・補習開始 ・職場見学 ・就職相談 ・第5回実力テスト ・中間テスト
11	・県中学校同和教育研究大会ー本校が会場。全クラス授業を公開する。	・第2回共同テスト ・高校説明会 ・就職相談（最終） ・入試要項発表 ・第6回実力テスト
12	・解放文化展 ・3者面談 ・終業式	・期末テスト ・特2回実力テスト ・公立高校定員発表
1	・校内マラソン大会	・第3回共同テスト ・私立出願・受験 ・就職内定 ・3者面談 ・推薦出願
2	・校内実力テスト ・私立受験 ・公立高校出願 ・高専出願・受験	・推薦面接 ・訓練校受験 ・学年末テスト ・神奈川模試
3	・入試	
	卒業式	

学年部会

1．学年部長挨拶

2．学校挨拶・自己紹介

3．協議

① 学校説明。

生徒の現状、年間行事、進路指導、その他

② 協議

アルバム作成、その他

③ 質疑、その他

学校名	学科名	男	女	計
総	普通	1	3	4
板野	〃	59	56	115
阿波	〃	3	3	6
徳商	商業	0	2	2
	事務	0	1	1
	情報処理	0	1	1
鳴商	商業	2	4	6
徳工	建築	2	0	2
	機械	3	0	3
	電子機械	6	0	6
	工業デザイン	0	1	1
鳴市工	機械	1	0	1
	工業化学	1	0	1
	情報技術	1	0	1
阿北	生活経営	0	2	2
	生物工学	3	0	3
県外私立		1	2	3
私立		9	2	11
その他の高校		3	0	3
訓練校		1	0	1
就職		3	1	4
総計		99	78	177

（平成2年度進路状況）

＊本人の希望、家庭の希望を考え、本人、保護者の方と納得のいくまで話合い、進路の決定に向けて進みたいと考えています。

＊子供たちに実力をつけると共にゆれ動くであろう十五歳を長い目で見守っていきたいと考えていきます。

＊常に保護者の方との連携の中で学校としての全力を尽くしていきたいと考えていますが不十分なことも多かろうと思います。遠慮のないご意見をお願いします。互いにスクラムを組んで頑張ることができればと考えています。よろしくお願いします。

奨学資金について

奨学資金名	金額	期限	条件など
日本育英会	公立 12000円 私立 24000円	5月10日 （校内締切り）	貸与、成績・経済 人数制限
	交通遺児については別にあります。		
福祉奨学金	7000～8000円	2月頃	給付、経済、人数制限
母子福祉資金	10000円程度 支度金もあり	2月頃	貸与、母子家庭
板野町奨学資金	5000円	卒業後	貸与、経済
世帯更生資金	10000円程度	卒業後	貸与
地域改善対策奨学金	15000円	卒業後	貸与

＊高校入学後授業料免除の制度があります。

＊原則として併給はできません。

＊不明な点は担任まで問い合わせてください。

学年通信 わかりん PART2
板中3年 4月21日(日) 21号

資料2です。
昨年度「わかりん」189号と同じものです。

＊ 卒業後の進路
① 進学 ② 就職 ③ 家事手伝い

＊ 就職は純粋に就職するばあいで、働きながらなんらかの形で学ぶ場合は進学として考えていきます。だから進学には高校、高等専門学校、訓練校、各種学校、定時制高校など全て含まれます。

今回は最も希望の多い高校進学について 年生として知っていて欲しい基本的なことを書いていきます。

＊ 徳島県内には

県立高校……３６校
公立高校…… ２校（徳島市立高校、鳴門工校）
私立高校……４校（文理、香蘭、生光、生徳）
高等専門学校……１校（阿南高等工業専門学校）
公立定時制……１２校
公立通信制高校…１校
がある。
（以下、県立、公立をまとめて公立と書く）

＊ 受験制限について

① 公立高校は１校しか受験できない。
② 私立高校は受験日が違えばいくらでも受験できる。もちろん、私立と公立の両方を受験してもよい。県外の私立も無条件で受験できる。
③ 高専は合格すれば県立公立高校の受験資格を失う。
④ 県外の公立を受験すれば県内の公立は受験できない。県外の公立の受験には正当な理由が必要。

＊ 学区制について

県内は３つの学区に別れている。
① 甲学区…徳島市より南（小松島、勝浦、阿南など）
② 乙学区…徳島市より北、西（鳴門、板野、など）
③ 丙学区…徳島市内（但し特例措置として藍住町などは丙学区に含まれる。）
板野町は乙学区に含まれる。

＊ 学区による制限

普通科については学区の枠を超えて受験するときは制限がある。その学区内の普通科の総定員の８％を超えた場合はその超えた分だけ不合格になる。（だから受験そのものには制限は無いが、実質的な制限と考えてよい。）

問題になるのは丙学区への学区外からの受験であり、（これが問題になっている、総選受験といわれているもの）これ以外は問題にならない。しかし理由は聞かれる。正当な理由が欲しい。

実業科については学区の制限は無い。

＊ 総選の受験について

総選（徳島市内の普通科高校）の合格点は学区内と学区外では１００～１５０点の差がある。学区外からの受験はきびしい。そのため中に保護者の住所を臨時に丙学区内に移そうとすることがあるが、審査が厳しく、家を新築したりするなど実質を伴うものでなければ認められない。登記簿の写しまで請求されることもあるという。また合格しても城南、城東などどこの高校に入学するかは抽選などもあり希望通りにいかないことがある。

＊ 板野からの受験

既に見てきたようにほぼ県内どこでも受験できると考えてよいのですが通学距離などもあり以下の高校などが具体的には考えられる。

普通科……板野、鳴門、阿波、総選（城南、城東、城北市立、城ノ内）、生光、文理、香蘭、寒川（県外私立）（名西、穴吹は遠い？）
工業……徳工、東工業、鳴門市立工業、高専
商業……徳商、鳴門商業、生光
（鳴島商、阿波商は遠い？）
農業……徳農、阿北
家庭……徳農、阿北、成徳
芸術……名西
衛生看護…富岡東羽浦、寒川
（詳しくは「学級生活と進路」を参照）

＊ 入試について

○ 期日は例年３月１０日前後
○ 国語、数学、社会、理科、英語の５教科
来年から、つまり今の２年生から英語に聞き取りが加わる。全受験生に面接が実施されるがこれは判定の資料にはされない。
○ 合否は試験結果と調査書を同等に扱って判定される。配点は５分５分と考えてよい。

＊ 調査書について

調査書は３年間の学校の成績を記入したもの。わかりやすくいえば通信簿の得点がそのまま点数になると考えてよいのです。一年間のまとめの成績が５と２では３の差があるがそれがそのまま調査書の差になると考えてください。

但し、入試にない５教科以外の成績は、５教科の２倍の点二なります。また、３年生での成績は重視され１，２年生の２倍の点数になります。例えば音楽は最高３年生では、２０点がつきます。だから、５教科以外を決して手を抜かないようにまじめに毎日の授業を受けることが大事です。

その他、学級会活動やクラブ活動も基準にしたがって点数化されます。これはそう高い点数ではありません。

いずれにせよ調査書のことをいたずらに心配するよりは今の一日一日を真剣にまじめに取り組むことです。それが調査書の得点をあげる唯一の方法です。マスコミでとかく議

学年通信 わんぱく PART2
板中3年 4月21日(日) 22号
資料 No3
「わんぱく」190号と同じものです。

論されていますが心配はいりません。

＊ 推薦入学について

推薦には①と②があります。

①は学業成績の優秀なもので定員の１０％以内。ただしこれは実施していない高校もあります。例えば、阿波高校はこれがなく、板野高校にはあります。（来年度がどうなるかはわかりません。）中学校と高校の話合いと本人の希望をもとにして進めていきますが入学後好成績が期待されること、その高校の中心になってやっていけるであろうことなどかなり厳しい条件がつきます。推薦については本人からの申し出を受けて検討していくことが基本ですが学校としても高校との信頼関係の上にたって慎重に検討します。

②は文化、運動に優秀な成績を残し高校入学後も３年間継続して活動を続ける意志があり、学業面でも十分にやっていけるだけの学力があることが条件になります。人数は若干名ということで一つの高校で１０名以内ということですが国体を控えてやや増える傾向にあります。運動面での成績については、各高校で基準を決めておりかなり厳しい条件が付いています。これもまた、本人の希望をもとにし高校と話合いのもとで決めていきます。

①②ともに１月の終わりに受験を決定して２月初めに面接試験を受けその後内定します。内定すれば３月の入試は受けません。合格発表は一般入試の合格者と一緒に発表されます。推薦によるメリットは特にはないのですが推薦入学だという自覚と誇りを持って３年間頑張ることができればそれが一番大きなことかもわかりません。（入試をうけなくてよいというのもメリットといえばいえるかも）

大事なことは一般入試を受けても十分に合格する力がなければ①はもちろん②でも推薦の対象にならないということです。部活動にはいって一生懸命やっただけでは難しいと思っていてください。

＊ もしも入試に失敗した場合

万一不合格になった場合は次のようなことになります。

① 欠員のある高校があった場合県下全体の不合格者の中から希望があれば入試の得点（調査書の得点も加えたもの）順に欠員を埋めていきます。一杯になったところで終わりです。これを２次募集といいますがまず、ないものと思っていたほうがよい。２次募集で定時制に変更する場合は大丈夫です。

② 公立の結果がでてから後で２次募集をする私立高校は２校ありますがこれももし１次で一杯になっていれば２次はないだろうし、また、１次に比べて格段に難しくなっているのが現状です。従ってこれも余り期待できない。

③ 就職も希望するようなところが少ないようです。

④ 中学浪人は厳しいだろうと思います。
これくらいしかありません。だから失敗すればおおきく進路に制限を受けることになります。

＊ 志願変更について

入試を受けるためには願書を出します。これが大体２月中旬になりますがあまり希望者が集中した学校や科については変更が認められますがこれもいろいろな厳しい条件があります。従って一度願書をだせばもう変更はきかないと思って考えることです。

その他、細かい点や各高校の特徴については３年生になってから説明があると思いますがなお聞きたいことがあればいつでも質問してください。合格点については毎年変わる点であり我々が今の時点でいうのはあくまで参考であるということでお聞きください。

後、いくつか質問のあった点につき簡単に書きます。

＊ 補習について

補習が本格的に始まるのは１０月からになります。
その行き過ぎが問題になり県中学校校長会で取決めをしてそれに従ってやることになります。補習は主として復習を中心にやることになるでしょうがあくまで手助けにすぎないということです。時間的にもわずかですから「補習があるから大丈夫」とはいかないところがあります。

今何を考え、すべきか！

当たり前のことばかり書きます。

① 実力をつけておくこと。今の制度の中では実力があるほど選択の範囲が広くなってくる。自分の一番やりたいこと勉強をしたいことを高校でつづけるためにはそれだけの基礎学力がどうしても必要になる。その力を今つけていくこと。それには、授業の中で行われるテスト、定期テスト、実力テストに一回一回全力を尽くすしかない。

② 今までに遅れがあるという人はこれから　月までが取りかえすｃｈａｎｃｅである。特に数学、英語のような積み重ねが必要な教科は焦らず時間をかけねばできない。今からだと十分間にあう。

③ 今からあまり進路希望をしぼり込むのでなくいろいろな自分の夢を大切に描いて欲しい。これからいろいろ希望が変わると思う。変わって当たり前でそれでよい。ときに家族とその夢についてはなしをしてみるのも大切なことだ。

④ 将来の職業について考えるのはまだ難しい点もあるが進路を考えるときの基本はそこにある。何がしたいかわからないという人が大半だろうが、こんな仕事をしてみたいなあという漠然とした感じを大事にしたい。

学年通信 わんぱく PART2
4月24日(水) 23号

久しぶりの雨のような気がする。緑がいっぱい濡れみえる。

連絡

※左のプリントは、体験学習の要項です。各学校この要項については、改めてまとめて連絡します。実業高校を希望する人は参加する方がよいでしょう。どこの高校でも自由に参加することはできません。地区割のようなものがあります。一応考えておいて下さい。

※明日は板野郡の先生達の会の為、午後は一部の先生を除いて出張になります。当然、家庭訪問もありません。部活がどうなるか、顧問の先生からよく聞いておいて下さい。スカタンもせんようにすること。

平成３年度　中学校生徒職業教育体験学習実施要項

1　趣　旨

職業に関する学科を設置する高等学校を中学校生徒及び教員並びに保護者に開放し、各種の実験・実習の体験や生徒の進路相談等を実施することにより、職業教育への理解、進路に対する目的意識の高揚、学習意欲の育成を図る。

2　実施校

職業に関する学科を設置する県立高等学校のうち２３校で実施する。

3　実施する時期及び期間

中学校・高等学校の教育課程との関連を考慮し、７月から８月にかけて２日間程度実施する。

4　参加手続

参加を希望する生徒は中学校長を通して実施校に申し込むこととする。

5　参加対象者

中学校第３学年の生徒のうち、体験学習を希望する者で、中学校教員が引率することとする。保護者も参加することができる。

参加対象中学校及び対象中学校生徒数は、実施校がその実態、地域性等に応じて決定する。

体験学習実施校

徳島農業高等学校
勝浦園芸高等学校
那賀高等学校平谷分校
三好麗林高等学校
徳島東工業高等学校
貞光工業高等学校
富岡東高等学校
鳴門商業高等学校
阿波商業高等学校
小松島西高等学校
辻高等学
富岡東高等学校羽ノ浦分校
徳島農業高等学校神山分校
新野高等学校
阿北高等学校
徳島工業高等学校
阿南工業高等学校
徳島商業高等学校
宍喰商業高等学校
鳴島商業高等学校
美馬商業高等学
穴吹高等学
水産高等学

あゆみより

※遠足の劇のストーリーを昼から考えていた。メンバーが井上さんや中山さんだったのでとても楽しかった。よしその反面、話がところどころで断線するのでなかなか前へは進まなかった。結局この仕事は土曜日にする事に決まった。

⇒先生達が今忙しくて遠足にまでまわりかねているところである。各クラス委員長を中心にして進めていって下さい。

※この頃部活へ行くと一年生の子が一生懸命「ドレミファソラシド」と練習しています。みんななかなかならなかったりでとても頑張っています。フルートにも一人はいって私たちが教えてあげています。二年前は私もこんなんだったんだなあと思うと成長したなあと思いました。

⇒そしてこれからまだまだ成長する。

【参観日】

※今日の参観日は私のお母さんもきてくれたし、みんなのお母さんもたくさん来ていました。やっぱり参観日なのだから、たくさんの人が来てくれた方がうれしいなあと思いました。これからもこんな参観授業ができたらいいのになあと思います。

※今日の授業参観は、普通ならしずまりかえって先生も生徒もだいぶ変ってしまうけれど、3Cはそんな気配もなく、ふだんの授業がおくれて、ちょっと気持ち悪い感じがした気もするけど、おもしろかった。

※お母さん来るかなあと思ってふっと後ろを見るといました。すごくびっくりしました。どうして私の後ろにいるのかと思います。何か緊張して全然手が動きませんでした。

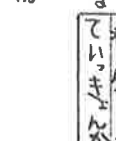
⇒保護者の方の授業参観も参加して下さる方が除々にふえてきているように思います。もともっと多くの方に子どもたちの授業ぶりを見ていただきたいと思います。

※うーム、又悪夢を見ました。なんと私の上に、森のくまさんがのり、公民の前文を読み、その横でN先生が竹刀を振り回し、数学の勉強をしているわで、しまいには、くまさんの重さをつぶされてしまい、数学の勉強のせいで、目まいがし気を失ってしまいましたのふーII。

⇒なんという夢も…。

よほど、社会と数学に悩まされていると みえる。それにしても、もうちょっとましな夢にしてくれ。何か悪いことでもしょるような気がしてきた。森のくまさんに背負ってもらっている夢でも見て下さい。

いまって春？ほうやな。ほんまやにねんでこんなに寒いん。おかげでかぜひきかけ、のど痛いいたい。なんか毎年、季節のかわりめに気になるけど、今回は、フェイン じゃ。ずっと腰病かかってちょびっと油断したら、こんなんなってしまって私の知らん遠い所でなにかおこってちょっとづつ、くるっていっきょんかえて。



心配だよ。

学年通信 わんぱく PART2

4月25日（木）　24号

ちょっと寒い雨でした。今日は天気いいほへ向うのですか？

あゆみより

※今日ねんりんを見て思ったけど一年のときから三年間教えてくれたのは六車先生だけなですね。深く考えもしませんでした。だから私達のことを一番よく知っているはず。そんな先生が一人でもそばにいてくれてちょっとうれしいです。

⬇だから担任紹介の時にも書かせてもらったけどみんなと先生の間にはなんともいえないいい関係を感じることがある。みんなにとっては忘れられない先生になることだろう。先生の言われることもよく聞いてしっかり力をつけていい。

※今日は明日のために数学の予習もしようと思ったとき、ふとお父さんにミンジンの箱を三百あまりうっておかなければいけないのを八時になって思い出した。それから九時三十分までかかって仕上げた。これからが忙しくなるので勉強のあい間をぬって手伝いをしたいと思います。⬇今、ミンジンをつくっている家は忙しいし、家時間のある限りしっかり手伝ってほしい。家の人も助かることだろう。

次のあゆみはみんなでよく考えみたい

今日筆箱をぬすまれた。一八〇〇円くらいの損失。帰って思ったけどぬすまれたことがすごく、くやしいこともあるけれど、その反面悲しくも思った。なぜ学校にいるだけなのに、こんなに、けがいしなくてはならないのか。大げさだけど、机の上にお金を置いておいても大丈夫なくらいになればいいのに…。

※他にも、板中生と思いたくない、腹立つ、情けない等の感想もたくさんあった。学校は、どこよりも安全であってあたりまえのところ。仕方ないとはいえ、鍵をかけたり、サイフをあずからねばいけないことが、情なくも思う。

ともかく今は、そんな人をつくらない為ということできちんとしていきたいと思う。しかしいかしいつも、このあゆみを書いた人の気持を持っていたい。

※今日の美術の時間にオルゴールのできたのを見せたとき、清重先生がほめてくれた時は、すっごくうれしかったです。春休みに一生懸命にちょうこく刀でほりとって本当によかったです。一生懸命にしたかいがありました。本当にうれしかったです。⬇やっと完成したかよかったなあ。ほんとうに長いことかかった。それだけ時間をなげうって作ってつくったオルゴールだ。いつまでも大事にしとけよ。

※明日から家庭訪問があります。いっときますけど私の母は声がでかいです。「大きい」じゃなくて「でかい」しです。私の声が大きいのは母に似たんです。ふだんでも実の声とかでかいです。ちょっと恥かしいかなと思うけど、それは仕方ないなとあきらめてます。ちょっとだけど、なしか今から緊張しています。⬇先生の方も負けんくらい大きな声で話しましょう。しらん人が聞いたらケンカと思うか

こ犬もらって下さい!!

すいません、また私です。今回は子犬うまれて、今1匹もらわれていたので3匹です。オス2匹、メス1匹。どーかもらってやって下さい。

（今回もドッグフードつき）

担任紹介

豊田亨子先生

今年吉野中学校より転任された国語の先生。三年生全クラスの国語を担当。地元出身だが、実は土成から お嫁さんにきた。（むかしむかしに…）だから知らない人がいたかもしれない。とにかく、ハッラツとして元気。思ったことは何でも言うし実行力もある。今までずっと担任してきて久々の副担でとまどうと言いながら、仕事を先どりしてどんどんやっていってくれるから、ほんとうにありがたい。はじめての国語の授業が進級テストを返すことになった。あるクラスでは（国語がむつかしくて点が悪かった）自己紹介をするまえにブツブツ言いながら返したらしい。さすがにびっくりした人もいた。それを聞いた先生は、「なかなかやるな、こりゃ国語の力つくぞ」とよろこんだ。とにかく元気で、明るく、楽しい。A先生でも負けるかもしれん。高校時代は、実は、実は、森口先生と同級生。これを聞いて、生徒のみんなもびっくりこいた。しかし考えてみたら、「びっくりした」というのは、どういうことなのかー。くやしく聞けば、どちらかの先生を傷つけることになると気づいて、聞くのやめた。ともかくこんな先生をむかえて気を強くし喜んでいる先生たち。男らしくやさしい御主人とかわいいかわいい一歳半の男の子の三人家族。滝山神社の隣だそうです。

連絡

明日の午後三年生は除草作業があります。作業のできる服装と、指示された用具を準備して下さい。忘れないように。

もしれん。まあええか。

学年通信 ねんりん PART2
板中3年 4月26日(金) 25号

家庭訪問中で不規則な毎日ですが、時間は有効に使えていますか。テストも近い。

生徒との交流いっぱい

昨年の活動を2冊子に

板野中学2年部会

板野郡板野町大寺、板野中学校（漆原郁夫校長、五百八十七人）の二年部会（十教師）はこのほど、昨年度一年間にわたって編集した学年通信と同和学習の授業記録をまとめた冊子を発行した。漆原校長は「両冊子とも教師と生徒の自主的な取り組みから生まれた。先生方の情熱には頭が下がる」といっている。

板野中学校2年部会が発行した学年通信「ねんりん」と「峠を越えて」

学年通信は、学校・生徒・保護者を結ぶ架け橋にするため昨年四月九日から「ねんりん」のタイトルで編集。B5判の大きさで休日を除くほぼ毎日発行し、二年生全員に配布。既に三百号に達している。

内容もバラエティーに富んでおり、肩ひじ張った教育論やお説教の類も一切ない。

生徒の作文、あゆみの紹介のほか、授業や教師への感想、独り言などが数多く取り上げられているほか、教師のコメントも寄せられている。

また、保護者からの意見、感想や「子供たちの学校生活が手にとるように分かった」

「毎日、子供が持って帰るのを楽しみにしている」などといったメッセージもあり、「ねんりん」が学校と家庭との連携を深めるうえで果たした大きな役割をうかがわせている。

一方、同和問題学習の冊子「峠を越えて」（B5判、百八十二ページ）は、学習指導案や授業記録をまとめたもので、全員で考えることを狙いに取り組んだ学年公開授業のもようを詳しく報告している。

漆原校長は「学年だよりは各校でも発行しているが、年四三百号も出た例はないのでは…。また同和問題の授業も研究・実践の第一歩として意義深いものがある」と高く評価している。

※左の徳新の記事は二十三日のものです。

「今日朝新聞（徳島新聞）を読んでいると、二年のときにもらった「ねんりん」をまとめた本がのっていました。この時、ぼくはすごくびっくりしました。」

「今日、徳島新聞を見ると、板中の「ねんりん」のことがのっていました。思わず「ねんりん」も有名になったなあ」と思えてしまいました。仁木先生にこれからも頑張ってほしいです。ねんりんは読むのがたのしみだから…」

といったあゆみもあり掲載することにしました。生徒のみんなや保護者の方、先生方、みんなの力をあわせた結果です。今年もみんなで協力し、いいものを作りあげていきたいと思っています。（「峠を越えて」というのは、先生達の間でまとめた同和問題学習の記録でみんなには配布していません。）

あゆみより

※今、私は東ドイツの男の子と文通してます。名前はセバスチャンです。まぁまぁハンサムなんですよ。とても楽しいです。外国に友達がいるのってなんだかわくわくします。

⇒いいですね。ずっと続けてみること。地球はどんどん狭くなっているから、いつか会えるんじゃないか、夢があっていい。

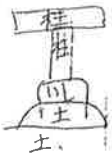
※買い物の帰り、車の前を汽車が走っていたので、お母さんに「あの汽車においついてみー」と言ったら、返事もなくスピードをどどんと上げていきました。「おいぬいてみ」までは言わなかったのに汽車をおいぬいて「おいぬくなよ、おいぬくなよ」と言って、そのまま家に着きました。こんなお母さんだけど、私は好きでたまりません。

⇒なんというか…、お母さん若いですね。好きでたまらないというのがなんとなくわかる気がする。汽車に勝つとはすばらしい。しかし事故だけはおこさないように。

※今、せんたくをしました。ジャージと体そう服しかあらいませんでした。せんたくするのも、たまにだったらいいけど、毎日だったらしんどいです。お母さんは大へんだなあと思いました。

⇒してみたらはじめて大変さがわかる。せめて、自分のものぐらいは自分で洗濯してくれよ。

※昨日家をこわし、今日は木や石なども残っているのを運んだ。いざとなると、なんだかさびしい。朝も起きると「アレッ」と家がないと思った。それに今の家の土台はコンクリートでしっかりとするが、その家はおじいちゃんが生まれて建てられたもので、土台は大きく平らな石に柱を置いているだけで土をもって石を動かないようにしてあった。洪水の時も倒れず、小さい時たたみの上であばれてドシンドシンやっても倒れたりはずれたりしなかったなあと思う。大黒柱もあったり昔の「ベイゴマ」もあった。でなぜか大切なものもなくしてしまったようで悲しい。



⇒昔の家は、石の上においただけであった。だからこそ少々の地震なんかには強かったんじゃないかと思う。今まで何十年も生活してきた家族の歴史を刻んだ家をこわすというのは、自分の歴史までなくなってしまいそうでさみしい気もするが、しかたない。それにしても石の上においただけの木の家そのように強いものだ。びっくりする。これからは新しい家が待ち遠しくて楽しみがあるね。

学年通信 わんぱく PART2
板中3年 4月26日(金) 26号

徐長中内の中央分離帯のツツジ、サツキがもうそろそろ満開、初夏か---。

連絡

―家の人にも見てもらっておいて下さい。

[1] テキスト・問題集購入について

・テキストというのは、国語等の五教科について、三年間の内容を一冊にまとめたものです。参考書として実力テストの勉強などに活用してもらう一方で、補習にも使用する予定です。これを中心に勉強していけば他の参考書はいらないでしょう。一冊八百七十円です。

・問題集は、「スタンダード」という、昨年一年間の桑良文の実力テストを一冊にまとめたもの。一冊四百五十円です。

合計 6600円になりますが、五分引きで 6270円 ということです。連休あけに第一回実力テストを予定しています。これらの参考書や問題集を活用してもらう為に、明日二十七日(土)、朝七時五十分より、郵便生徒で販売です。原則として全員購入してほしいと考えています。おつりのいらないように、用意して下さい。わからない点などあれば、いつでも聞いて下さい。

[2] 実力テスト予告

第一回実力テストを連休の終った五月七日より実施します。範囲はすでに配布してあります。

・七日(火)…国語、数学
・八日(水)…社会、理科
・九日(木)…英語

(時間は、おって連絡します。)

一回一回のテストへの真剣な取り組みが力をつけ、自分の進路を確かなものにしていく。

あゆみより

※先輩(というの)はとても大変です。責任はとらなくちゃいけないし、しかし、かといって一年を同っておくと先生におこられるし…。なんか疲れる。三年生になって部活でもものごとが断えない。とくに先生がきてないときは大変です。先生がまたらせこいけど早く来てほしいです。⇒三年生っていうのは大変でよ。三年生になれば自由で、後輩にえらそうに言えて!というのは大まちがい。実は三年生は一番えらい。それが、そろそろゆがりかけたところだろう。だからこそ三年生は他うちかある。先生も家庭訪問が終れば部活にでてくるだろうが、三年生としての苦労もしまりやれ。

※日曜日の新聞にねんりんのことがのっていたので少しびっくりしました。今日は家庭訪問なので部活が終って少し時間もずらして帰りました。ほぼ日、おこられるのかなあと思っていたらちっともおこられなかった。今までは、家庭訪問でおこられなかったことはなかったです。そのせいか、今日はすごく雨が降っていました。⇒三年生の家庭訪問で最後だから、最後でおこられなかったら、ひっぱなもんじゃ。母校での生活に三年より進歩したところがあって、先生がそれを見ていてくれたなでしょう。これからも、そのいい状態がずっと続くようにせえよ。

※今土曜二十分、観音寺の旅館でこれを書いています。今日放課後場に行ったけれど八百Mは明日十一時三十五分スタートです。いきなり一組で知らない子が大半だから、びりになったらかっこ悪いけど、とにかく「勝ち」を意識して積極的にせめていきたいなあ。なんて思っています。一番に行ける子も友達っぽくなったし明日は思いっきり走ってEnjoyしたいです。

※(次の日)十一時三十五分、定刻通りすぎ八百Mの一組のスタート。八人で走るので百M通過するまでは、セパレートコースです。スタートし百M通過、オープンコースになりました。レースは予想していた通り大麻二年の市橋さんがひっぱります。私は、二、三番手につけ、レース展開をうかがう…。つもりでしたが、びり舞いをしています。はっきりいってすごくあせりました。四百M通過した時点で七位、目の前には二位~六位で一つの集団ができています。五百M地点ぐらいで"抜ける"と思いました。ラスト百五十M、"ラストの勝負は誰にも負けん"と言いきかせてスパートします。あと百M、二位と並びました。なかなか振り切れません。もう無我夢中です。ラスト三十M、相手がバテました。そしてそのまま二位でゴール。記録は、二分二十九秒、総合二位。これが今日の私のレース展開でした。ちょっと緊張しすぎていました。けれど結果は十分だったと思います。これからも、もっともっと記録を伸ばしたいです。⇒これは圓藤さんのあゆみ。まるで実況中継のようによくレース展開がわかる。それにしても勝負にかける根性がすばらしい。二分二十五秒を切ってほしいと欲ばる先生でした。

おわびと訂正

23号で、「徐々にふえる」というのが「除々」になっていました。先生いつも除々と書いているような気がする。国語のテストで間違わないようにして下さい。責任感じてしまう。「ねんりん」校正係(と勝手に、こちらで思っている)校長先生が指摘してくれました。なんとも情なく聞いが、ごめんなさい。ミスしないようにの~。おわびと訂正でした。

学年通信 わんぱく PART2
林中 3年 4月27日(土) 27号

連休、規則正しい生活を送ってください。

連絡・注意など

※明日から二日の休み。そして又、三日からは四連休になる。今さらいうまでもないが、きちんとした生活をおくってください。事件・事故をおこしたり、警察に世話になるようなことだけは、絶対にないように。何があれば、担任の先生まで連絡をとること。

・部活に参加している人、試合や練習試合が組まれていることと思う。絶対に勝つつもりで全力を尽せ。

・連休あけには実力テストがある。テキスト、スタンダードを参考にして、勉強に時間をかけること。なんじゃかんじゃいっても時間をかけることは大切。

・休み中、学校にできるだけ物を置かないように。理由はみんな知っての通り、未然に防ぎたい。

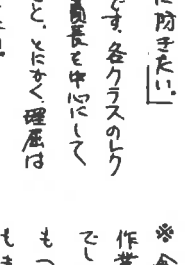
※遠足の計画は左の通りです。各クラスのレクの方は大丈夫ですか？ 委員長を中心にして当日までにまとめておくこと。とにかく、理屈は抜きにした楽しい遠足にしたい。

あゆみより

※今日サルが出た。吹田の尾田木材の前の所でサルが二～三匹道路をまたいだ。サルはすごい跳躍力で壁をとびでた。木材の上にのって、西原君の方を見ていた。そして少したってから逃げていった。⇒道路をまたいだとは足の長いサル…。西原君もまげずに見逃えていたですか？ タッピー、感想は？

※今日は雨のおかげで除草作業がなくて、雨さまさまでした。がしがしようこんだのもつかの間、なんと部活が終えてもまだふっているではありませんか。

というわけで、私は喜こんだり、悲しんだり、苦悩歓楽が激しくなってしまいました。⇒なかなか、すべてにうまくはいかんもんじゃ、しばらく天気がくずっくそうな…。遠足は大丈夫だろうなあ。



※私って変でしょうか？ 親に「勉強せえ」って言われると腹立てて腹立てしょうがないんです。先生なら素直に「ハイ」と言えるんですけど。そしてそれを言われると勉強は意地でもしたくなくなるんです。

春季バス遠足実施計画

1 目 的
- 集団行動において集団の一員としての自覚を持ち、規律ある行動をとる。
- 利用する交通機関や見学地での公衆道徳のあり方を体得する。
- 学級成員相互の交流を深め学級生活の充実を図る。

2 行き先
名西郡神山町 神山森林公園
（雨天の場合、徳島市八万町 文化の森公園）

3 日 程
8時10分 学校集合 （いつもの通り登校）
9時15分 出 発
10時30分 レクレーショク大会
12時 昼 食
15時～16時 帰校予定

4 服 装
体操服 帽子も可（華美でないもの）

5 持っていく物
弁当 水筒 おやつ（500円以内） 小遣い（500円以内）

6 配車計画

バス	5号車	4号車	3号車	2号車	1号車
クラス	A	B	C	D	E
先 生	佐野 漆原	森口 六車	仁木 豊田	後藤田横山	阿部 園井

7 諸注意及び連絡事項
- 雨天の場合は文化の森公園に行って美術館と博物館を見学することになります。
- 体調を崩して参加できない場合は必ず学校に連絡してください。
- クラスの輪をつくり広げることが大きな目標の一つになっています。
- 学級ごとのレクレーショク大会を予定しています。翌日の5月3日に予定されている阿部先生と玉田先生の結婚式を大いに意識して、各学級のびのびと楽しいレクレーショク大会にしてみてください。
- レクレーショク大会は、各学級15分ぐらいの時間を予定しています。2学期には文化祭もあるけど、義務教育最後のバス遠足である今回のレクレーショク大会もぜひ立派なものにしてください。
- 板中の仲間と行く最後のバス遠足、各クラスバスの中の過ごし方、1時間ぐらいになると思いますが、限られた時間精一杯有意義に過ごしてください。
- お互いがお互いのことを考え、ルールを守り事故のない思い出に残るバス遠足にしましょう。

⇒変じゃない。みんな、同じような気持ちもっている。先生もかつて中学生のときにそうであった。自分が「さあやろうか」と思った時にかぶって親が「勉強せえ!!」と言うように思ったものだ。だから腹が立つ。親の言うことが正しく、反論が、へ理屈になることがわかっているから、又腹が立つ。自分でも、しなければいけないと思い気になっているところへ、追いうちのように言うから よけいに腹が立つ。自分自身への腹立ちと一緒になって腹が立つ。そんなところかと思う。しかし、それはやっぱり甘え。親もみんなの気持がわかるから、言うのもかねておさえている。でおさえてだまっていると、なかなか自主的には勉強しない、という点もある。

でもね。考えてみれば、「勉強せえ!!」と必死になって言ってくれるのは、広い世界で、親と先生ぐらいしかないですよ。

クイズ

豊田先生には ただ一つの 趣味があります。何でしょう。

正解者には、豊田先生オリジナルプレゼントをします。

学年通信 わんぱく PART2
板中3年 4月30日(火) 28号

5月行事予定です。机の前にでも、はっておいて下さい。

5月行事予定

日	曜	行事
1	水	家庭訪問最終日　除草作業
2	木	遠足
3	金	阿部先生結婚式
4	土	国民の休日　バスケ・卓球選手権→
5	日	子供の日　バレー選手権
6	月	振替休日
7	火	第一回実力テスト（国、数）
8	水	ツ反接種13:30　〃　（社、理）
9	木	3C研究授業　歯科検査　保険集金（英）
10	金	ツ反判定
11	土	
12	日	ライオンズ武道大会
13	月	生徒会総会
14	火	
15	水	
16	木	午後先生たちの会
17	金	3A研究授業(6校時)
18	土	
19	日	
20	月	
21	火	中間テスト
22	水	中間テスト
23	木	3D研究授業　貯金日
24	金	
25	土	
26	日	
27	月	
28	火	
29	水	校内陸上大会
30	木	3E研究授業
31	金	
1	土	

保護者の方へ

家庭訪問のお礼

一部、五月一日にまで家庭訪問が残っている御家庭がありますが、ほぼ終了しました。お忙しい時の在宅依頼で、申し訳ありませんでした。又時間も十分ではなく、まだまだ話し足りない思いもあったのですが、これを機会に、互に遠慮のない意思の疎通をはかっていきたいと考えております。いろいろお話しいただいたことも、今年の学校での生活に生かしていくことができるよう精一杯がんばっていきたいと思います。今後も疑問点や御意見など遠慮なくお申し出下さい。共に考え、動き、この一年間を悔いのない充実したものにしていきたい思いがあります。

ありがとうございました。

――三年担任一同。――

五月行事予定について

※大きなテストが二回。実力テストと中間テストがあります。何度もいうように、一回一回を全力投球で臨むことが大切。手ぬきをしてよいテストなどありません。

※各部活の大会が五月から六月にかけては、めじろ押しにあります。この中に落ちているのもあるかもしれないし、又、後日連絡のはいるのもあるでしょう。――さっそく、落っていました。野球部が六日にNTT杯の試合があります。いい結果を期待しています。新聞を楽しみにしている。

※同和問題学習の研究授業が続きます。今年はすべてを昨年のような形で取り組むことができないと思うのです。教室での授業も、他の一クラスくらいが見るという形もでてきます。六月に板野郡の研究会が本校であり、その為の準備ということもあるのですが、それはひとつの節にすぎず、昨年から全員で取り組んできた同和問題学習を一層深め、たしかなものにしていく為と考えています。ぼく達、私達は、こう考える、こう思う、ここまで考えているんだ、聞いてくれ！見てくれ！そんな気持で、堂々と胸をはって、いろいろな大会に臨みたい。その為の授業です。

※そして三日は、阿部先生・玉田先生の結婚式です。お二人の幸せを心から祈りたいと思います。なぜ、三日になったか？　三日は憲法が作られた日。だから阿部憲作先生は、その日にした。――というのは、ウソ・ホント？　職員室では本人よりも、まわりの側の先生達の方がうれしいような気がする。先生もしっかりお祝いをしてきます。なお、先生は七日には、学校に出てこられる予定です。

※初夏です。これから暑くなってくるだろう。バテ気味になるかもしれん。三年生になっての四月の緊張がゆるんでくるかもしれない。ダラダラすごしても、精一杯がんばっても一日二十四時間は確実にすぎていく。気を抜いていてそのツケがあとでまわってきた――ということになりなりように、一日一日を頑張ってやっていきたいと思う。

"風かおる五月"、れーいが充実した月になりそうな予感がしている先生です。

学年通信 わかくさ PART2
板中3年5月1日(水) 29号

阿部先生 おめでとう！
3Eからのお祝いのメッセージ
(No. 1)

※ご結婚おめでとうございます。美男・美女でお似合いのカップルだと思います。いつか生まれてくる赤ちゃんはとってもかわいいでしょうね。いつまでもお幸せに……。（水口千代美）

※御結婚おめでとうございます。かわいい奥さんが見つかってよかったですね。いつまでもお幸せに…。（桝井恵子）

※ご結婚おめでとうございます。阿部先生、玉田先生と幸せになって下さい。私も心から祈っています。（吉田裕子）

※おめでとうございます。（長尾憲二）

※結婚おめでとうございます。玉田先生と一緒に、よい家庭を築いて幸せに暮らして下さい。（石川敬子）

※先生、ご結婚おめでとうございます。これからも二人ずっと幸せに暮らして下さい。（添原理恵）

ご結婚おめでとうございます

得意の三段とびで玉田先生のハートにアタック。記録はもちろん、他もぐーとひきはなして優勝！！幸せに ——佐野富子

※阿部先生と玉田先生が結婚するって聞いた時、ビビクリまんぼ〜〜でした。けどお似合いですね。まず結婚おめでとうございます。二人の赤ちゃんが見たいです。ウヒヒヒ…。（岡田真紀）

※ピカピカの新婚夫婦ってい香りがするネ！結婚したら二人の家庭ができて、まだ焼きあがったみたいなケーキのスポンジみたいにふわっとしていて……あったかいよネ…。いいなあ…。おめでとう！（岡本裕美）

この幸福をいつまでも大切に。仲よくすごして下さい。—大草和行

※どこにいてもきっと一緒だから、捜そう。いつか出会った頃のほほえみ、愛であったそのわけを…。いつまでもお幸せに！（小川美香）

※あの日、あの時、あの場所で君に会えなかったら、ぼくらはいつまでも見知らぬ二人のまま。（阿部先生から玉田先生へのメッセージ♡）（斉藤美幸）

御結婚本当におめでとうございます。私のように愛を永遠に！ ——後藤田寿子

※「……」「……」か？おめでとう（林秀和）

※玉ちゃんとずーっと幸せにくらして下さい。（高原里佳）

※おめでとうございます。お幸せに！（田原一見）

※まさか阿部先生があの玉田先生と結婚するとは思っていませんでした。まったく予想もできないカップルですね。これから幸せな家庭をつくって下さい。（上田博文）

※ご結婚おめでとうございます。お幸せに。（滝本元）

※結婚おめでとう。玉田先生といつまでも仲良くして下さい。（近藤大）

ご結婚おめでとうございます。幸せいっぱいの先生を見ているとこちらも幸せを感じます。これからも楽しい酒を奥さんと共に飲み続けましょう。 ——森口健司

※このたびは結婚おめでとうございます。ぼくの方から左記のものをおくらせてもらいます。
贈 金壱円 （大西弘記）

※先生、ご結婚おめでとうございます。新婚生活ののろけでもなんでも受けつけますから、玉田先生との、ラブストーリーを聞かせて下さい。（森まゆ）

※結婚おめでとうございます。態度ではあまりでてないけれど心の中は春がきたと思います。玉田先生とは多分前から仲が良かったので、これからも仲よくして下さい。（佐野貴之）

※結婚おめでとうございます。顔にはでてないけど心の中ではやはりうれしいと思います。玉田先生と仲よくしてよい生活をおくって下さい。（栄田健一）

七年前阿部先生に会った時からベターハーフも見つけてあげたいと思っていたのですが、やっと自分で見つけてくれました。結婚式に何を言おうか思案しています。いい言葉があれば教えて下さい。 ——添原校長先生

※結婚おめでとうございます。はやく子どもをつくって、いい家庭を築いて下さい。（瀬川一岩）

※「……」玉田先生と仲良くして下さい！（三原進也）

学年通信 わんぱく PART2

板中3年 5月1日(木) 30号

3Eよりのお祝い号 (No.2)

※御結婚おめでとうございます。いつまでもお幸せに!!
(東條 加海)

絵になるステキ!なカップルの誕生をじょりおよろこび申し上げます。結婚~だら花嫁をふすべないで、ちょっとは「減煙」して下さいね。ゲンエンというのは煙をへらすのと違いますよ。煙をへらすんです。そして「へ作踊り」にますます みがきをかけて下さい!おしあわせに! ――柴田 翠

※私の知っている先生どうしの結婚はこれで二組目です。だからゲンカなんかしないでずっとずっと仲良くお幸せに。又、結婚式とかの話聞かせて下さい。(高宮 由佳)

※まさか、こんなに早く玉田先生が結婚するなんてびっくり。相手は阿部先生で二度びっくり。どこでも走りぬけそうな阿部先生には玉田先生みたいに気のきく、かわいい人がよいのかも。まあ~なにはともあれ「おめでとう」これから阿部先生の顔つきとうなるのかな?
(茂 美詠子)

で結婚おめでとうございます。美男美女のカップルなので生まれてくる赤ちゃんは、きっと私の息子の様に、かわいいことでしょう。家庭の中ではやはり奥様の方に主導権がある方がうまくいくと思いますよ。バラ色の新婚生活がいつまでも長く続きますことをじょりお祈りします。――豊田 淳子

※阿部先生、結婚おめでとうございます。玉田先生と幸せな家庭をつくって下さい。
(大伏 一仁)

※結婚おめでとう。一日も早く二人の幸せな家庭がつくれるよういつまでも仲良く!
(長崎 紀子)

※ご結婚おめでとうございます。玉田先生と一緒に明るく幸せな家庭をつくっていって下さい。(岡本 弘樹)

※結婚おめでとうございます。陸上部の指導に熱心な先生だけど陸上のことばかりに気をとられて、玉田先生のこと放っておかないようにして下さい!
(長坂 薫)

阿部先生、ご結婚おめでとうございます。パンパカパーン!阿部先生とはまだ一ケ月足らずのおつきあいですが、とにかくかっこよくて、やさしそうで(うちのだんなさんもかっこいいんだけれど)玉田先生がうらやましい。(玉田先生とは大学が同じで少し知ってます。)あと一年前を思い出してしまいます。一年たっても私達は新婚気分ですが、でもやっぱり一年前のあの初々しい気持には、もう、もどれない…。うう悲しい!!阿部先生、玉田先生と力を合わせて、(共働きは、おくさんが大変なのです~)幸せな家庭を築いて下さいね。
(園井 裕江)

※「……」玉田先生と仲良くして下さい。おめでとう。
(吉川 朋秀)

※結婚おめでとう。阿部先生と玉田先生の結婚を祝して「バンザーイ」「バンザーイ」これからも仲よくして下さい。
(佐藤 元通)

※結婚おめでとうございます。二人で頑張って下さい。
(根ヶ山 拓也)

※結婚されるお二人に祝福の言葉を贈りたいと思います。おめでとう。おめでとう
(西川 幸治)

※玉ちゃんとお幸せに
(東条 裕子)

※うわさはあっただろと二コニコ笑っていた玉田先生。結婚の話もするとすぐ顔が赤くなる阿部先生、二人に幸せになってほしいと思います。
(三宅 里下子)

※あの"たまちゃん"と、あの"あべ先生"が結婚するとはいがいでした。結婚おめでとうございます。あべ先生、よかったですね。
(増原 洋子)

※ニヤニヤ
結婚?
ニヤニヤニヤ
(二修 建次)

朝早くから、夕方おそくまでの部活の指導、いつデートする間があるのかと心配していました。しばらくは飲みにさそえないかなァ…と少しは気にしています。(しかし、悪いんがおるけんなあ…)これで、三年生の島に独身がいなくなった。又話がややこしくなりそうな気がしてならんのですが私がきっちりしめてきたいと思っています。ともあれ、「お二人に幸多かれ」と心より祈っています。三日は飲みまくります。仁木真之

◎昨年の西野先生に続いての、「祝達の先生」の結婚。同僚として、こんなうれしいことはない。生徒のみんなにとっても、こんなことはちょっと珍しいのじゃないかと思う。そのうち、県下に「板野中へ行けば結婚できる」という伝説が流布され、さらに「板野中で結ばれたカップルは必ず幸せになる」という神話にまで発展するかもしれない。そうなって欲しいと願う祝達と百八十五名です。

学年通信 わんぱく PART2

板中3年5月1日（水） 31号

まだまだ続く阿部先生結婚おめでとう特集、玉田先生へもあります。

No. 3

陸上部三年生よりのメッセージ

陸上の指導に情熱をもやす阿部先生へ
陸上部三年生からのお祝いのメッセージ

※ご結婚おめでとうございます。すっとずっとず～～～～と玉田先生と仲良くして下さい。バイバイバイ（大川ゆう子）

※ご結婚おめでとうございます。同じ地区になったけれど仲のいいところも見せつけないで下さいね（佐野光代）

※先生ご結婚おめでとうございます。すっと玉田先生と仲よくして下さい。（漆原理恵）

※HAPPY WEDDING. 陸上と同じくらい（それ以上に）奥さんを大切にして下さいね。（圓藤志乃）

※ご結婚おめでとうございます。玉田先生との日曜日をムダにすごさないために、部活は休みにしましょう。ウソ！（大森恵子）

※ご結婚おめでとうございます。玉田先生を泣かせないような幸せな日々を送って下さい。（市川直子）

元2-Eのある人から
酒とたばこはやめてしまいなさい。

※先生めでたくゴールイン。おめでとうございます。いつまでもお幸せに。（東條和海）

※阿部先生 おめでとうございます。玉田先生を大切にして下さい。（岡本芽典）

※阿部先生 おめでとう。玉田先生とお幸せに（長谷川真士）

※結婚おめでとうございます。これからも幸せになって下さい。（岩下才大）

※阿部先生、玉田先生ご結婚おめでとうございます。（吉川朋秀）

お祝い用のカットがなくなったので普通のカットです。

※阿部先生、結婚おめでとうございます。（山内修二）

※阿部先生ご結婚おめでとうございます。（滝本元）

玉田先生、おめでとう。

玉田先生は現在加茂名中勤務。昨年度は2Cから国語を教えてもらいました。そこで元2-Cの諸君から玉田先生へのメッセージ（全員の協力、載せられるだけ載せます。）阿部先生、このねりりは玉田先生にも見せて下さい。

※Dear Tiiyo chan. Iiyo chan. 結婚おめでとうございます。毎日愛妻弁当と過ごせると思うと、さぞかしhappyなことでしょう。好きな人やせーんせーおらんと言いながら、しれっとにくいねぇー。いよ子chanの生ディング、着物姿目に浮かびます。きれいだろうな。（かおり）

※子供は三人ぐらいがいいと思います。（長尾正晃）

※阿部先生のどこが気に入ったのですか？（佐野浩幸）

※結婚おめでとうございました。ねりりんづくりの時は、うまくごまかしてくれて…。でも私は人から聞いて知っていたゾ!! まあそんなことはどうでもよくて幸せに。（太田美紀）

※先生、仲が良いのはけっこうですが、絶対キスマークなどはつけてこないようにして下さい。教育上よくありません。（井上由加）

※玉田先生、結婚おめでとう。毎朝ではないけれど時々会いますね。これからも朝会うことがたくさんあると思うけど会ったらあいさつするので、先生もあったらあいさつして下さい。阿部先生と仲よくして下さい。（佐藤元道）

（番外）阿部先生、玉田先生をかえせ。

※結婚おめでとうございます。いつまでもお幸せに暮して下さい。阿部先生、玉田先生をいじめたらゆるしません！（大西美紀）

※ご結婚おめでとーございます。どーぞお幸せに！ 子供の名前はゴンザエモンがいいでしょう。（藤井由実）

※ご結婚おめでとうございます。玉田先生だったらすてきな奥さんになれると思います。たまには私たちのことを思い出して下さいね。P.S. うそはいけませんよ。うそは！（保護：このうそというのは、昨年のねりりん二百七十九号でのことを指しています。他意はありませんので、悪しからず。）（水口千代美）

※一年間、お世話になりました。国語はむずかしかったけど先生の授業はわかりやすかったです。ありがとうございました。（森川公博）

※あんまりお世話になっていないような気がしますが、いちおうお世話になりました。色紙に書いたことを忘れないように！（井上浩司）

※結婚おめでとうございます。ま、阿部先生とお幸せにね！ 結婚式に行きたいよー！（酒井智美）

※ご結婚おめでとうございます。料理とそうじの間でいいですからたまには顔を見せに来てください。（森真由・東條和海）

※阿部先生、元玉田先生 御結婚おめでとうございます。これからも末長くお幸せに。（鈴木友果）

※結婚おめでとうございます。明るく楽しい家庭を築いて下さい。いつまでもお幸せに…。（阿部恵実子）

※心からおめでとうと言います。玉田先生おめでとう。阿部先生と末長くお幸せに。（瀧秀佳）

※玉ちゃんへ。がんばって下さい。（新宮加奈子）

学年通信 わかくさ PART2

板中3年 5月7日(火) 32号

連休 終わりました。
どうだったですか？ くたびれた人もたくさんいるんでしょう？

あゆみより

※今日いやなin50m走もしました。当然のことながら、すごくタイムが遅かった。こういう時てやっぱり陸上部は、とくだなって思ってしまった。それにバスケだてブラスバンドだてバレーだてなんかの授業にかかわって、とくだなって思う。テニスだったら今までとったことがない体育の"5"がとれるかもしれないのに。⟹ たしかに、とりあえず今を考えればそうかも知れない。しかしそれは別として部活はいいもの。クラスは替わるけど（替わるからいいのだが。）三年間かわることなく汗を流した仲間は部活しかない。だから卒業後も部活仲間とのつき合いは長く続くことが多いようです。切れ走のことは忘れましょ。

※今日の音楽は花々も歌いました。私は去年音楽は西野先生に教えてもらっていたのだけど、西野先生の場合はかわいく静かに弾くという感じだったのだけど、柴田先生の場合には力強く、どっしりとした感じでした。私も前ピアノを習っていたのだけど、あれだけ弾けるということはとてもすごいなあと思います。⟹ 弾く人によってずいぶん違ってくるものでしょう。柴田先生らしくていいなと思った先生。曲によっても違ってくるでしょう？ それにしても、みんながいろいろと感じながら授業を受けていることがよくわかる。

※この頃ぼくは少しずつだけど、だらけてきたなあと実感してます。セミナーノートは家に置き忘れるは、給食のあとしまうもちょっと問題があるは、授業中はぬるくなるはといいとこなしです。もう三年だから、こんなふうにわける目が一日もないように、一日一日をすごしていこうと思いました。⟹ 連休も終わり、そろそろこれからが三年生の緊張がとれ、だらけてくること。今日からテストが始まったが、日々思いを新たに頑張っていきたいもんだ。

※この頃ボーッとしときたいなあ。なんか……。でもいざボーッとしてみると早く部活でおもいっきりあばれたい。自分でも理解できん。ほなけど部活のおかげで規則正しい生活ができるようになった。前は朝何時までも寝とれたのに今は九時には目がさめる。ねばけいきに書いたけん、文がまとまってないけど終わりです。

※今日は帰ると七時半でした。日が長くなりました。部活は楽しいです。私のいきがい(?)ですね。だって中三にもなると部活をとったら何が残ります？ そう勉強です。私たちはどうしても勉強しなければなりません。そんなのしんどいですよね。部活が終ったらどうしよう……。

⟹ この連休は各部とも大会のオンパレード。遅くまで練習が続いていた。あゆみたちも部活関係のことが多くなってくる。考えてみたら大半の部はあと二ヶ月。

※五月五日に県の大会が松山の体育館であります。それに向けて今日も練習がありました。十時から十二時すぎまでやりました。始める前に先生が来ました。先生がくるとレンジャーもしてくれるのですごく練習になります。ゴールデン・ウィークは休みがとれないのでかなーりけど、練習の成果を出したいです。⟹ 結果はどうだったかなあ？ これを書いている今はまだわからない。練習の成果が出ていればいいが……。

担任紹介

園井裕江先生

今年吉野中学校より転任された先生は、尾形先生が復帰される十一月まで家庭科を中心に三年生の面倒を見ていただく。三年の先生方の中では一番若い先生だが、すでに結婚されている。子どもさんはいない。聞くところによると、御主人はB先生によく似た、小グマさんタイプだそうです。（何か今年はクマに縁がある。）これも書くための資料(?)をつくってもらったら、いっぱい書いてきてくれた。自宅は鳴門市で車で通勤。鳴門高校の近くだそうです。趣味はエレクトーンとフルート。そして今スキーにも夢中とまことに中広い。スキーにつれていってくれるなら誰にでもついていくそう。

いつもニコニコとして、やさしいお母さんという感じ。お母さんはなってないが、お母さん、家庭科も教えることに喜びと使命感を持たれている。生活の基本である衣・食・住を中心にした家庭科は女子だけでなく、男子にもぜったい必要になってくる。風呂洗うだけではだめだという先生です。三年生は先生の方もいろいろな事務がふえる。それらもさりげなく、苦もなく、仕上げてくれる。裏方さんとして頑張ってくれているのです。今女子はパジャマも作っているのでしょう？ 先生のも。先生につくってもらおうか？

おわびと訂正

30号の阿部先生の「おめでとう号」で、事もあろうに名前をまちがえました。二條君が二條君になっていたのです。長井君がニタニタしながら指摘してくれました。すみません。訂正しておいて下さい。

学年通信 わかば PART2
板中3年 5月7日(火) 33号

3Bの公開授業特集
です。全校公開は初めてのこと。昨年よりも、又一歩踏み出したのです

三B 全校公開授業特集

四月三十日、全校のトップを切って三Bの研究授業がありました。あと、どんどん続いていきます。とりあえず"あゆみ"からみた三Bの研究授業特集です。――書けるだけ書いていきます。

今日の授業は、けっこう自分の意見をぶちまけられたと思います。何度か言おうとした事が言えずに後悔したけれど、それも、後でちゃんと言えたし、最初はみんなの視線に緊張したけれど、最後には、考えてるのを読むだけではなく、自分の考えも言えて、本当に充実した授業だったと思いました。先生やみんなの言った中で一番心に残っている方は「自分を見つめて生きる」という言葉です。誰が言っていたかは忘れたけれど、何か印象深くて、心に残っています。その言葉について考えたことは、他人をいじめたりする以前に自分をしっかり見つめて、自分の欠点などを知って、分かっていれば、人の事をとやかく言うことはできないのではないかと思うし、自分自身を見つめている人というのは、人の事を差別なんかしたくないと思いました。　私はまだ、人の悪口を言ったりする事があります。一年前よりは確実に少なくなっているけど…でもまだ、人を差別心で見るということは、自分自身が見られてないということだから、もっとしっかり「私」を見つめなければ…と感じました。

今日のように、学校全体で取り組むのはとてもいい事だと思います。これからも、できるだけ、公開授業の時は、学校全体で、そして、一、二年にも、私たちの前で公開授業をしてほしいと思いました。

今日の公開授業、全校で集まってするのは初めてでなんか、すごく緊張しました。緊張したと言ってみても、私は、1時間じゅう、じっと座っているだけでした。やっぱり大勢の前で何かを言うということは、本当に勇気のいることだと思いました。

今日は、「自分以下を求める心」の資料をずっと通して、私が一番心に残ったのは、自分以下のいらない人間になりたいですというところです。自分以下を求める心というのは、謎にでもあると思います。もちろん、私にだってあります。でも、その心は差別していることだから、みんな知らないうちに、人を傷つけているのです。本当は、みんなこの人のように、自分以下を求める心があって、自分以下のいらない人間になりたいはずです。だから、その心を、自分自身から取り除こうということが大切だと思いました。

そして、最後の文のところで、私は、差別する方がはずかしいと今を感じました。やっぱり、される方にとっては、何かの原因があるのだろうけど、それでも、ともっとその人を傷つけていくようなまねはやっぱり差別する方がはずかしいと思いました。

私は、これからの生きていくうちで、何度か、差別に出会うと思います。そして、私は、差別する人、差別される人、どちらになるか分かりません。でも、今まで、勉強してきた差別についての資料を読んでいくうちに、差別していないと思っていたのに、差別していることに気が付くようになりました。これからも、この資料を通じて、絶対、私には、そんなことがないんだと言えるようになって、なりたいです。

※今日の授業で、私は全然発表できなかったけど本当はいっぱい言いたいことあったけど、みんなみたいに勇気がありませんでした。だから下を向いている間に50分が過ぎ去ってしまいました。でも私の思いはやっぱり他の人がいじめられていても悲しい思いをしてそれ、だったら「他人の事」とその時点ですませてしまいがちです。自分がその子のそばに立って同じような気持になって初めてその子のつらさ、いたみなどが痛いほど心に伝ってくると思う。そして差別やいじめをなくし、他人のことも傷つけない仲間として力を合わせられる人間になってほしいと思うし、私だって、自分自身そうなることもいつも思っています。自分の中にある差別心を洗いそこによって、自分自身のまちがった所をもう一度よく考えて、どこが間違っていたんだろうと間違った考えを正しい考えにしていく事が大切だと思います。

※今日公開授業がありました。一年～三年まで、周りを囲まれましたが、そんなに緊張しませんでした。二年の公開授業はものすごくあがっていたのになと思いました。三年生としての一歩をしためけだけど、もっと考えたらよかったなと思いました。だんだんこういうのになれて、もっともっと意見をもっと発表できるようにしたいです。

⬇

学年での公開授業は何度か経験してみんなすいぶん成長した。しかし全校となると、又違うものだろう。後輩もいれば、弟や妹のいる人もある。発言しにくくなると思うが、これも又慣れればけるようになる。同和問題学習における板中のリーダーとして頑張っていきたい。

※今日の公開授業はとてもよかったと思いました。それから仲間って本当にいいものだなあと思い、とても感動しました。みんなが勇気を出して自分の意見を言っているのはとてもすばらしいです。私も大せいの人がいる中で発表したことがあるので発表している子の気持が分かります。はじめはクラスで、学年で、学校全体で、どんどん差別をなくすためにみんなで取り組んでいます。「差別はいけない」こんなあたりまえのことも口先だけで何回もくり返してもしっかりなんて！それに実行に少しもうつっていないので、いつまでたってもなくなるわけはありません。もし、いじめられる子がいたら、自分もいじめられたら困るとか思ってみているだけという人がいるけどもし勇気を出して止めに入ったらその人こそ本当に立派な生き方をしている人と思います。見ているだけの人より何倍もすばらしいです。今日はとても勉強になった一日でした。

⬇

今、先生やみんなにできることは何なのか、それを常に考えていたい。全員が一歩踏み出すことができれば、どれだけ大きな力が生まれることだろう。みんなで勇気を出して、一歩も踏み出そう!!

※今日昼から「自分以下も求める心」について勉強しました。私は二年生の時、美しさを求めて生きる人生という資料で佐藤文孝先生の資料について勉強してきました。そして今日の授業と合わせてほんとうによく分かりました。資料の中に「他の人が私をいじめた時、その間違いをはっきりわからなかったのです」という文章があるけど、なかなか自分の心の中には弱いところがほんとうにたくさんあります。それを間違っているしだといえる人間になっていくためにも、この世の中から部落差別のない世界にするためにも、ほんとうにこの問題に真剣に取り組まなければと思います。

学年通信 わんぱく PART2
板中3年5月7日(火) 34号

生徒諸君はご存知、遠足の時の3Bの寸劇(?)の脚本。迷いつつ載せました。

板中ラブストーリー

憲作のすてきな初恋

脚本、製作、出演　三B
監修　森口健司

（N：阿部憲作、三十歳。今日板野中学校にやってきました。彼は今燃えに燃えています。）

阿部　「おかあちゃーん、がんばっちょーからね、よっしゃ、いくぞー！」

（N：ところは職員室前です。向こうからやってくるのは玉田先生のようです。）

―鎬り合いをする―

（N：阿部憲作、生まれて初めて恋をしたようです。しかし、このとき、佐野先生は阿部先生をひそかに狙っていたのです。）

佐野　「重清ー」

重清　「ハッ」

（ここで解説しよう。重清とは佐野家に代々つかえてきた忍者邪のことである。）

佐野　「私はあの阿部憲作が気にいったわ。毎日見張ってなさい！」

重清　「ハッ」

佐野　「阿部憲作、絶対私のものにしてやるからね。オーホッホッホッホ。」

―阿部先生のくしゃみ―

（N：阿部先生と仁木先生の会話が続き、スナック「森の熊」へと行く。スナックの場面。まずは酔っ払いから。そして阿部先生たちへ）

阿部　「仁木先生、僕は初めて女性を好きになってしまったんです。どうすればいいでしょうか？」

仁木　「それは誰なんだ？」

阿部　「玉、玉田先生です。」

仁木　「エッーそれは本当なのか？それにしても本当に女を好きになったのは初めてなのか？」

阿部　「男の経験はあるのですが……。男はいいですよ。」

（N：これ以上は教育上良くないのでカットさせていただきます。）

―一方、別の飲み屋では―

後藤田先生　「あの阿部先生って絶対あんたに気があるわよ。」

玉田　「そうかしら？でも、あの人、とても変わっているわね。（笑う）」

後藤田　「アタックしてみなさいよ」

玉田　「そうね」

―次の日―

佐野　「阿部先生、これから先生のことを憲ちゃんと呼んでもいいですか？私のこと富ちゃんと呼んでね」

阿部　「あ、あの……」

佐野　「憲ちゃん、今夜お暇？もしよろしかったら一緒に飲みにいきませんか？」

阿部　「…今夜はちょっと…」

―森口先生が通りかかる。―

阿部　「あっ、先生、今夜一緒に飲みに行くんですよね」

森口　「えっ？」

佐野　「ちぇー」

（N：佐野先生敗れたり。一方阿部先生と玉田先生の仲は仁木先生のアドバイスにより深まっていったのである。）

―スナック「森の熊」にて―

（いつのころからか、阿部先生は玉田先生との結婚を考え始めたのである。ある夜、いつもの飲み屋で）

仁木　「憲作、うまーにいっとるか？」

阿部　「グッドですよ。先生は奥さんになんてプロポーズしたんですか？」

仁木　「何を言うんだ、急に、照れるじゃないか。こだけの話だけど、僕のくっさいパンツを洗ってくれっていったんだよ」

阿部　「そ、それで奥さんは何て言ったんですか？」

奥さん　「大丈夫よ、私も臭いからこれで二人はくさい仲」

仁木　「って言ったんだよ」

阿部　「そういう言い方もあるんですね。」

仁木　「もしかしたら、おまえ、玉田先生にか？」

阿部　「ま、そういうことですよ。ワッハッハッハ」

重清　「き、聞いてしまった。これは、あねさんに報告しなければ…」

―重清走る。そして、佐野家―

重清　「あねさん、大変ですよ」

佐野　「何なの？」

重清　「阿部憲作がプロポーズするみたいですぜ。」

佐野　「とうとう待ちに待ったこの日がやってきたのね。どうしょうかしらアタシ。やっぱり私美人だから。」

―重清が変な顔をする―

佐野　「なんなのよー」―重清をたたく―

重清　「あねさん、言いにくいんですけど、実は阿部さんがプロポーズするのは玉田先生なんですよ」

佐野　「何ですってー！」

―佐野先生が重清先生をなぐりまくる。この日から重清の姿をみたものはいない―

―そして、その夜公園では……―

―阿部先生と玉田先生がデートをしている。佐野先生が尾行。「あんたたち、もっと離れなさいよ」とブツブツいっている。警官が来る。―

警官　「そこの君ー何をやっているんだね。ちょっと署まで来なさい。」

佐野　「私は無実だわ。憲作ー」―連れられていく―

阿部　「なんかこの公園は騒がしいね」

玉田　「そうね」

―しばらく沈黙が続く―

阿部　「君に初めてあったときからその瞳に恋をしてしまった。だから、これから僕の人生を一緒に過ごさないか。」

学年通信 ねんりん PART2

板中3年 5月7日(火) 35号

34号から続いています。
これも又、お祝い号のようになってしまいそうです。

玉田　「はい、どこまでもついていきます。」
　　―みつめあう―
（N：意作、遂に男になれるか）
　　―酔っ払いが来てじゃまをする―
阿部　「結局俺の人生こんなものさ」
　　歌：全員で「結婚しようよ」
N：明日はいよいよ阿部先生と玉田先生の結婚式。おめでとうございます。――――END

出演
阿部：井上、岡本　玉田：姫田　仁木：井上　おかみ：円藤　重清：西口、藤田　後藤田：広瀬　ナレーター：漆原　警官：新野　森口：松本　ママ：大森
酔っ払い：赤沢
その他小道具など三B全員

※以上ほぼ原文のまま、アドリブもあり実際の劇はもう少し余分のものがくっついていたような気がする。このシナリオをそのまま「ねんりん」に載せることについては迷いに迷った。きわどいセリフもあるし、先生方もいろいろと登場していて、気が引けたが、監修者のB先生やA先生が、えらく乗り気なので記念に載せることにしました。子ども達一流の阿部先生へのお祝いの気持ちのあらわれであるし、きょうびの子の感覚もよくわかるということで大目にみてください。

スナップなど

※連休もアッという間に終ったね。どんな休みだったですか？部活でマイマイとゆっくり休む間もなかった人も多かっただろうと思うのですが、又、あゆみでみんなの連休の一部をのぞかせてもらおうと思います。ともあれ、今日から、又学校の忙しい毎日が始まる。ゲンンセンようにゆ張っていこう。

※佐野先生もピンクの着物を着て、御主人がおくってくれたと言ってニコニコして来ていた。送ってくれたこと、着物を着たことがよほどうれしかったとみえる。西野先生も和服で着ていた。久しぶりに二年生の時の担任方勢ぞろいというところでした。

・ほどうに素晴らしい結婚式だった。仲人の校長先生も最初は緊張気味、新郎、新婦は、もうコチコチになっていた。あいさつが長くて（約一時間）、森口先生は「腹がへった」とそればかり言っていました。

・陸上部を中心に約二十名の諸君がお祝いに参加。まあ中には乱入に近いかな？というようなのもあったのですが…

あゆみより

運休中のあゆみがどっさりあつまりそうです。阿部先生の結婚式、部活の試合など、かたっぱしから載せていきます。

※乱入とまではいかないけれど陸上部16人で阿部先生のウエディング・レセプションに顔を出しました。感動のあまり涙ん中がモーローとして、はっきり覚えてないけれど、とにかく二人共すーーーごくきれい、かっこ良かったのが頭に残っています。でも一つ残念だったことは阿部先生のタキシード姿と玉田先生のウエディングドレスが見れなかったことでした。みんなで会場に入ったけれど先生たちを遠くで見たのは結局、お祝いを渡した私と長谷川君だけだったから、あとでみんなにさんざん羨ましがられました。一時間くらい待って会場に入ったのは、たった2、3分だった♥

※今日は陸上部のこもんの阿部先生と玉田先生の結婚式ということで3年の代表でおしゃれしていってきました。オシャレをするだけと思っていたらビックリ！男子にお世話になったりしていろいろ手伝ったりしました。人が行くというよりしゃべり行くという感じでしたが、人数が多くて、ちょっとあぶないなと思ったりしました。結婚式につくと、みんな制服にさがされてそうそうとしばらくすると佐野先生、長谷川先生、西野先生、森口先生、春日先生がきました。いっしょにまうえをとってしばらくしゃべることは同じでした。いよいよ中に入るときがきたとき、村上さんたちもやってきました。みんなで中に入り代表の阿部さんが「おいしい」にちょっとしゃべられました。最後にみんなでいっしょにTOP50をかけていてムード満点でした。玉田先生も阿部先生もとても美しかったです。でもやっぱりいちばんきれいでかっこよかったのは、二人ともとてもとおいんに思えたくらいです。仲よいようでいて下さいね。では新めてもう一度

HAPPY WEDDING

5月3日(金)
阿部先生の結婚式の日。自分はこの生活ノート3冊のノートを書きあげていた。一生に一度きりのこの日、あの2人にいつまでも寄り添って幸せに生きてほしいとこから願っていました。
あの2人も、私も、これからの人生の道を一歩スタートしたばかりです。この先、どんなに苦しくても、耐え、明日のあたたかさをおって、明日を大切にしていきたいと、そうも願っていました。
この場でいわせてもらいます。阿部実作先生、玉田桂子先生、ご結婚おめでとうございます。いつまでも、熱い仲でいてくださいねぇ。

少し残念ですが、でも、玉田先生としてもうれしいことでした。阿部先生もいつもさびしい部屋の先生ではありませんでした。二人ともとてもとおいんに思えたくらいです。仲よいようでいて下さいね。では新めてもう一度

HAPPY WEDDING

けれど、それだけで十分でした。阿部先生と玉田先生は絶対に誰もがあこがれるベストカップルになると思います。ところで先生、目蔵は大丈夫ですか？

学年通信 わかもの PART2
板中3年 5月8日(水) 36号

たくさんあるので、コメントが短くなって申し訳ない。

連休中の生活

あゆみより

【阿部先生の結婚式】

今日阿部先生と玉田先生の結婚式に行った。式場ついたらすぐ中に入って花を渡して三分ぐらいで外に出てきました。せっかく来たのに三分ぐらいしか中に入れなかったのでみんなにもう少しいて、玉田先生のお色直しの時までいようと待っていました。そして外で待っていて玉田先生がきました。そして式場で働いている人が中に入ってきいと言ったので入っていきました。――。そして赤沢先生がごちそう食べていきと席をゆずってくれた。赤沢先生はほとんど酔っぱらっていた。おもしろかったでェー。……。佐野先生や西野先生もきれいな着物きていた。佐野先生きれいだったでェー。――。多分赤沢先生だと思うけど「瀬戸の花嫁」をリクエストしていた。三年生の先生とちょっとアイドルになった気分だった。――。司会の人が阿部先生と玉田先生にインタビューをしていた。初めてのデートは喫茶店で、高校の文化祭行ったときなどをこそこそやっていたんだと思った。そして月日がたちプロポーズの時が来た。場所は鳴門の橋の所で八時頃。きれいな夜空のところで"苦労はさせるかもしれんけど、一生オレについてきて下さい"だったかな？ キザな言葉を言った。そしたら玉田先生が"ハイ♡"と返事をしたとかで、きゃたまらんかな。そしてそのインタビューのあとなんとキスらしきものをしたにゃありませんか。こっちまで赤くなってきましたでェー。――。私もこういう時がくるのでしょうか。仲人は先生よろしくお願いしますよ。⇒という長い長いあゆみ。これでもまだ省略したです。あのキスらしきシーンは、先生達の方があせった。森口先生なんか、「先生、生徒がおるのにかんま」の？ かんまんの？」と走りまわってパニック状態でした。

【試合】

※今日バスケットの試合がありました。鳴門中学としました。練習をしたおかげで走るスピードはあったけど三分ぐらいぶっぶっとおして走ったら、はてるのが早くて、走るスピードもおちてきてしまいました。前半二点差で勝っていたけれど後半十点差で負けてしまいました。阿部先生と玉田先生の結婚式だったのにいいプレゼントになんなくて残念でした。⇒その気持がうれしい。

※今日初めて鳴門の体育館で試合をしました。卓球台も新しく青色の台で60台もあって四人ぐらいの選手が出場していました。まだ県でベスト16に入ったことがないので今日はもえていたのですが、ベスト32でまけもや負けてしまいました。ベスト16の壁はベルリンの壁より大きく思いました。10の中で県の総体で壁をくずすことも決意しました。⇒ベルリンの壁はくずれた。ベスト16の壁もくずれる。努力、精進あるのみ。

※今日はまちにまった試合がありました。加茂名対石井を見ていました。印象はそんなに強くないと思いました。がんばったらベスト4ぐらい入れるんじゃないかなと思いました。板野対福井。はっきりいえ一セット目、ものすごく緊張しました。緊張しないと思ったのにあがってしまいました。一セットとれたから、みんな落ちついて二セット目は、もっと真剣にやってとれたと思います。勝てよかったけど、ナニスがちがうと全体的にできなかったと思います。ぼくは一セット目元気だったけど、二セット目は少しばてしまいました。加茂名戦、勝つように練習していきたいです。

※今日部活を終えて代表の16人で先生の結婚式にむかえました。一時間ちょいまって先生たちの姿がみえたのが5分ぐらいで、ちょっと残念でした。でも先生、カッコよかったです。それと佐野先生の変装にはびっくりしてしまった。アハハハ……。⇒世の人というのは、ばけるもんです。先生もびっくりした。しかし決して、おしとやかではなかった。

【家庭】

※三月末、子どもの日です。家族でどこか食べに行くのだったけど、都合ができて、いけませんでした。なのかわり、お父さんがマルナカで、おかしを、こうたるぞとゆうてくれて、私とお姉さんが一人ずつ、かごを持っておかしを買いました。お父さんのサイフの中はあという間にカラッポでした。⇒やっぱりお父さんの気持がよくわかる。どうせ遠慮をしにこうたんだろ？

※今日はGW最後の日です。今年の休みはテストもふくえての休みです。どこにも行けませんでした。それなのに、お父さんとお母さんは、娘思いなので、二人で遊びに行って私はきちんと家に残されました。やさしいお父さんとお母さんは、とても私思いだなあと感動しました。⇒いつも思うのだけど、こんなお父さん、お母さんていいなあと思うんですよ。子どもと親の区別をつける。家で仕事にとりくみ、たまの休みはゆっくり遊ぶ。自分の生き方がきちんとできていて、はじめてできることのように思うのです。親が遊ぶ

"テスト勉強"
やっと学校
でも
"テスト"
いーかげん
頭にきた

いろいろ、勉強にとりくまないかんこともある。それもきっちり

つかむこと、それにしても二人だと大？

学年通信 わかば PART2
板中3年 5月9日(木) 37号

実力テストもあと1つだけ。
今夜は7時間はできる！

気になっています。

何人かのあゆみから、「テスト中だから部活はしないと言って帰る子がいる。どうしてだろう」といった内容がみられた。才一回実力テスト中で、勉強のことが気になってのことだろう。その気持はわからんでもないが、"ちょっと待て"という思い。中三は進路決定の年。一回一回のテストに全力を尽せと先生たちは言ってきた。そのことは、部活をさぼってもよいということでは決してない。あと二ヶ月しかない部活動に全力を尽す。汗を流しクタクタになる。帰っても疲れがとれない事もあるし、ねむいしおしそれでも、三年生だから、自分にムチ打って頑張る。そこに、一二年生にはない三年生の値うちがある。ほとんど先輩がそうしてきたし県下の中三生が同じように頑張っている。又それでも分両立してやっていける。今まで部活をしてダメになったという例を先生は見たことがない。テスト中の部活は厳しいだろうが、必ず両立させることができる。これは先生の信念みたいなもの。事に積極的に向っていくことだ。部活をさぼる、というのが自分自身の生き方にマイナスになってしまわないかと心配する。

頑張れ!! 三年生!!

あゆみより

【音楽】

・今日の音楽の時間は最高でした。今「花」をうたっているんだけど、二部合唱ができると柴田先生はすごくびっくりしていました。C組だけでなく、よく歌うそうです。その中でもすごいのは笠井さんの声が柴田先生の声を消してしまうほど大きくてきれいです。それに男子もすごくすごく歌っています。三年生でこんなに声が出るなんて思ってもみませんでした。

・今日の音楽は、めいっぱい大きな声で花をうたった。久しぶりに大きな声でうたったので気持よかった。先生にいっぱいほめられたのでうれしかった。今度二部合唱するのでこの美しい歌声をうたいたいです。

・最近音楽の授業がすーごく楽しみです。理由はみんな大きな声でバンバン歌うから。昨年なんて歌いたくてもみんな歌わないから自分一人で歌うのも恥しかった。でも今年は違います。今日なんて「花」(君のうたうたの〜♪)の二部合唱ができたです。感激でした。二部合唱なんて何年ぶりだろーと思いました。笛の合奏もそれなりにいけれど、やっぱり歌です。なんてったって感情をこめて歌えるから!!。週一時間なんてすぐなすぎます。先生、音楽(つづに美術も)週二時間にもどしましょー!!

⇒ 先生もうれしくなった。三年生で音楽の授業でこんなに感想がでてくることも少ない。三年生で大きな声が出て、合唱ができる、男子も大きな声が出るなんてすばらしいじゃないか。みんなやるな!! 感心したし、うれしい。柴田先生も驚きもし、感激もしものすごくよろこんでくれている。柴田先生にとて、みんなは特別の思いのある学年。みんなが大きな声を出せば出すほど楽しく、楽しくおもしろい音楽になる。週一時間は変えることはできないけど、それだけに、一時間一時間を大事に大事にしていってほしいと思う。柴田先生のうれしそうな顔がまたうれしかった先生でした。

※今日の遠足はたのしかったです。私は森林公園ははじめてだったので!!。景色がとてもきれいで、あのすべったらゴロゴロいうすべり台で、ちょっとおしりのぜい肉がとれたような気がしました。⇒ 毎日すべり台もしたら?

阿部先生の新居
鳴門市大麻町市場字川向61-4 ホープス勝瑞103
(TEL 41-1976)

かたたたきけん

ママへ

平成3年5月9日

3年生保護者各位

奨学資金申込みについて

初夏の候、皆様方にはますますご清栄のことと存じます。日頃は3年生の活動にたいしご理解・ご協力をいただきありがとうございます。さて、以前に案内いたしました育英会奨学資金申込みの締切りが迫って参りました。

ご希望のある方、また説明を聞きたいと思われる方は下記申込書を5月11日までに担任までご提出ください。なお、奨学資金の種類を再掲しておきますので、今の時点で希望がありましたらその名称をお書き込みの上ご提出ください。

……切…り…取…り…線……

申込書

生徒氏名＿＿＿＿＿＿＿＿

保護者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿

(　　)を希望します。

※切は、今週土曜日です。

これは別紙で案内したものの再掲です。

学年通信 わんぱく PART2

板中3年 5月10日(金) 38号

テスト終了。今日はちょっと一息つきますか？

予定変更等 お知らせ

※21日、22日の中間テストが、24日、25日に変更になりました。時間割などは一週間前発表です。

※卒業アルバム用の個人写真を五月十五日(水)に撮影します。詳しくは後日。

あゆみより

※すずめが三年生の教室の前に巣を作っているでしょ。かゆいのはいけれどおちてくるしですよネ。今日一匹死んでいました。かわいそうで涙にぬれて…。私は見すてしまいました。もし明日になってまだあったら、私が持っていって、埋めてあげます。

⇒ほんとうに、今ごろスズメが巣をつくっている巣をこわしたら、もうどうにも仕方ないと思う。かわいそうだが…。

※今日学習会の開講式がありました。昨年一回も休んでないけど、遅刻をしていたので遅刻をしないで行きたいと思います。そして勉強に集中してがんばりたいです。

⇒学習会の意味を考えて、しっかり勉強していてほしいと思う。力をつけることだ。

※今日の四時間目は道徳で森口先生が話をしてくれていました。と、その時に、仁木先生が教室の本といっものの愛用の椅をプリプリふりながら入ってきました。森口先生も私たちもみんな仁木先生に注目でした。よく考えてみると教室は五時間目でしたなんか、仁木先生でも間違うことがあるんだなあと思ってしまいました。おまけにマルナカでまた仁木先生に会いました。おわり。

⇒ノーコメント。こんなとき、書いていると便利です。自分に都合の悪いことはすべてノーコメントですますことができる。

※今日はいよいよ春の大会です。7時頃集合して、みんな「勝つぞ～」などとほざいていました。相手チームは福井といって昨年のベストよだから、レベルは板野とかわりません。徳島中体育館で9時頃試合が始まりました。ぼくは最初の方でドジったけど、レシーブもきちんと返したし、アタックもきまったから上手くいったと思います。あの練習キライのN君もブロックよくきめたし、T君もとびついていきました。セッターのO君はちょっと遠くてボールを持てしまいました。けどみんなあきらめずボールをひろって圧勝してしまった。すごくうれしいです。勝っていいと思いました。

⇒昔から勝つのがなによりの薬という。12日も試合あるんでしょう。勝つこと。

※今日はミニゲームがあった。鳴門の新しい体育館であった。家から徒歩で20分かかりました。もうはやくから疲れてた。やっと体育館についた。大きいきれい。卓球台いつもなら30台しかおけなかったのに、この体育館は50台もおけていた。たまげた。私は一回戦はなくて二回戦からだった。ハハハハ。二回戦大麻中学の小林さしに勝った。三回戦。ハハハハ。みごとに負けた。鳴門はあまり汽車が通

5月9日(木)

遠足に行きたくないわけいって、時間を一番喜んでいたのは、自分だと思う
もっとも劇など好きなものではなかった
本当は役がなかったのに、急に勝手に決められた
少し嫌気がさしたが、嬉しい気持ちにいつのまにか変化していた
練習を一回もしなくて、選択の日がぶっつけ本番でした
自分の番がくるのを、ただひたすら待ちかまえていたまえ、出番となった
前に出たとき、自分は何をいって何を抜飛ばしたのかわからなかった
ただ、みんなが笑ってくれていただけでも、嬉しかった
私が最後にみせたクリは台本にはなかった
でも、みんなにうけたのでホッとしてたんよ

そういない。だから4時56分ので池谷で20分まちあわせでした。くたびれただけだ。あーもう一日でいいから休みがほしい。もし神様が一日私に休みをくれるなら一日中静かなところで寝て暮らしたい。

⇒この遠足は卓球部は忙しかったみたいだなあ。先生も一日寝て暮したい。

【遠足】（ちょっと前になりますが…）

※今日は本当に楽しい遠足でした。天気少し心配していたけど、どうにか晴れて本当によかったと思います。この遠足で一番楽しかったのはCのときでした。やっぱりB組は放課後残ってやったかいがあったなあと思ました。誰のすじは知っていてもやっぱり見ていたらおもしろかったです。昼からは風が吹いてのすごく寒かったです。だから外で走り回りということはなくて、バスの中で座っていました。やっぱり今日の遠足はCが一番たのしかったです。この楽しかった思い出も心の中にしまえておきたいです。

※今日は三年最後の遠足でした。朝のレクレーションはB組の劇が最高でした。やっぱり練習したかいがありました。セリフも忘れそうになった子もいたけど、アドリブでうまいことごまかしていたので「へえ、すごいわあ～」と思いました。帰りのバスの中もすごく盛りあがっていてよかったです。先生の美声…？も聞けたし、私はあまり歌わなかったから「あーうたっとけばよかったかな」なんて後悔してます。でもとても楽しいジュニアhigh schoolのラストの遠足でした。

⇒今回の遠足は、B組の劇のおかげで盛りあがり、印象に残るたのしいものになった。一番よろこんだのは、やっぱり阿部先生かなと思う。B組の諸君、ごくろうさまでした。ありがとう。

学年通信 わかくさ PART2

板中3年 5月13日(月) 39号

3Bの井上さんと中山さんが産休みきて、さわがしい、さわがしい。おかげで、ここ暑けん。

あゆみより

※久々に部活に阿部先生が来た。やっぱり先生がきただけでみんなの雰囲気がガラリと変わる。横から練習しながら見てもよくわかった。改めて先生の存在は大きいなあと思った。先生のHAPPYに負けない様に、私もHAPPYなタイムを出したいと思った。

▼阿部先生は今本当に忙しい。学校だけでなく国体関係の仕事も多く、出張も多くなる。おそらく先生は練習に出たくてうずうずしている。先生がいない時でも、きちんとメニューはこなしていこう。それがないと安心して出張もできない。

※それといつもお父さんの髪の毛、お母さんが切ってくれます。お父さんが何回も、おまえの切り方ちょっとかいっぱいゆうていました。お母さんは、おまはんが切れー切れー ゆうけんでないかーとか、いいやいしていました。お父さんは、明日からぶっていく帽子もさがしていました。

▼なんのかんのいってもやっぱりいいお父さんとお母さん。この日はお母さんの切り方がますかった日ですか？

※やっと実力テストが終わりました。久々に解放された感じです。えっ、結果？ノーコメントです。なーんて、いつもより少し悪いような気もしているんですが…。でも自業自得です。ところで今日の英語のテストでナポリンの悲しい伝記みたいなものが出ていました。スタンダードにジョンレノンのかわりにから、「今回はマリリン・モンローだったりして」と友達と言ってました。でもみんなの知ってる人についての文だと問題を解くのも楽しくなった気がしました。

▼先生もいつもそう思う。内容もタレントのことが、今みんなが興味もっていることであれば単語なんかもスイスイ覚えるんじゃないか…。後藤田先生に頼んでみようか。

※5月5日に夜9時から「今地球の子どもを救え！世界の幼い命」というTVを見ました。始めはもっと楽しいTVを見ようと思ったけど、やっぱりこのTVも大切と思って見ていました。アフリカでは1日何万人も死ぬそうです。その理由は栄養失調が一番多いです。毎日、何も食べない人や、食べたくても何もない人が多くて、こんな大きな数字になるそうです。病院でも行くまでが遠くて、バスで行くお金もなくて家でずっといる人もいて、今の自分を見直すと、すっごく平凡で、困ることもないし満足で生活しているけど、むこうの国は、こちらの国と正反対なので変な感じでした。向こうも日本人の看護婦さんも行きて、人の命を救う仕事って本当に自分がいつも笑えて笑いかけなければいけない仕事なので、本当にすごいなあと感じました。

▼テレビや新聞で見るかぎりほとんど今大変な状態におかれている国や民族がほとんど多い。イラクを中心としたクルド難民の話もあり、バングラデシュでは台風での死者が20万人にもなりそうだという。今の日本を見ていると、どちらかがウソのような感覚になるが、両方とも、現実。なぜこんなことになったのか。環境破壊の問題といい、なんか不安な気持になってくる。我々のできることって何なんだろう。

独り言

※明日は三Cの公開授業がある。今回は去年のように三年生だけが取り組み、三Cの授業のあと全体学習がある。去年から、言ってきたことだが、今私たちにできる差別解消へむけての行動は、手を挙げて、自分の思いも語ることが中心になる。みんな差別をにくみ、この世からなくしたいと願っている。それなら、手を挙げて自分の意見を言ってみよう。上手に言う必要はない。みんなの考え、思いを聞き、語りあうなかから、新しい勇気がわいてくるだろう。三年生全員でがんばっていきたい！

※5月の中旬にしては、例年とくらべて、ちょっと寒い(?)かなという感じの毎日が続いている。体調も崩している人もかなりいるような感じがする。腹の調子の悪い人も多い。健康だけは本人が気をつけないとどうにもならない。いいコンディションで部活に、授業にのぞむためにも、へり天でねたりすることのないように。

※今年度になって、みんなから出るカットが少なかったが、徐々にふえつつある。やっぱり既製品のカットよりも、手がきの方がいいという意見の人が多い。カットをみくのに勉強時間が減るのでは困るが、勉強のあい間、息抜きにかいたものがあれば「あゆみ」にはさんでおいて下さい。ただし、うすいのは困る。できるだけ濃いかかい。今回のカットはすべて「みんな作」です。

学年通信 わんぱく PART2

板中3年 5月14日(火) 40号

今日は、横にズレずに
きちんと印刷してくれるかなぁ
豊田先生？

柔道部・ライオン天県中・高武道大会

準優勝

5月12日に行なわれた県中学武道大会で準優勝に輝いた。阿波の壁は厚く、無念の涙、目標はあくまで県優勝を目指す柔道部。以下は指加見先生の速報。

- 一回戦……対大麻中、3対0。十分に力を出す。
- 二回戦……対市場中 四対0。試合内容に不満が残る。
- 準決勝……対吉野中 四対0
- 決勝……対阿波中 0対2。

※先鋒……豊田。体格と敏捷さがよく働く。立ち技では投げられないが、寝技になると締められるか押えられるか。顔もまっ赤にしながら頑張る。自分から負けを宣言しない根性はすばらしい。引き分け。

※次鋒……平野。相手は長身で足腰が弱い。悪くとも分けてこいとの作戦に身体はガチガチになっている。しかしなんとか引き分け。

※中堅……大西。自分の長いリーチを生かし引き分けの作戦。相手は25kgの巨漢。体重差は約60kg（はやくいえば倍）。二分ぐらは弘記も顔をしかめて頑張っていたが、相手も必死。引き倒されてそのまま固められた。

※副将……浜谷。この相手に勝て！戦術的に勝ちにくい相手は引き分けようとにげる。相手がにげる、組まさせてくれない普段温厚な表情が鬼のような形相に変り必死。引き分け。

大将……鴻池。相手は昨年の四国大会での七段オン。涼武も何とかしようと思い様子を見ながら技をかけるが相手はビクともしない。そのうち後ろに逆さに押えられてしまう。

ということでした。富加見先生に試合の結果を書いてもらいます」と頼むと、いつもこのようにびっしり書いてきてくれる。文面にも柔道にかける情熱や部員ひとりひとりに対する思いがあふれていて教えられることが多いのです。

個人戦では

渋谷 充省 君が準優勝です。

あゆみより

※今日は私のママの日です。というより母の日、私とパパと和くん（兄）三人でお金を出し合ってカーネーションとお花をいっぱいあげました。ママはとても花好きなのでとても喜んでくれました。ママが書いてくれたのでとても良かったです。佐野 teacher はどんな花くれた？

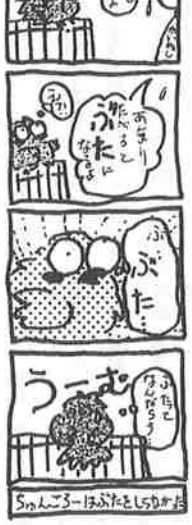
※今日は母の日です。今年は花と手伝いのプレゼントをしようと思っていました。お姉ちゃんと二人でお金をあわせて花を買うことも決めていました。そのことはもちろんお母さんには内緒です。ちょうど仕事だったのでその間にいろいろしようと考えていました。お姉さんが花をかってきて、私がお風呂をわかしたり、そうじをしたりちゃわんを洗ったりせんたくものをたたんだりすることになりました。お母さんが帰ってきて、いろいろしてくれてありがとうと喜んでいました。そして花もあげたらとても喜んでいました。とてもきげんがよかった。お母さんは一人で二人の子どもを育ててくれてとても大変だと思う。とても感謝しています。これからもずっと身体に気をつけて長生きしてほしいです。

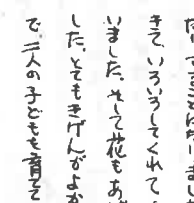
⇒ さぞれに、心をあたたかの日であったようです。花であっても手作りであっても、気持ちの万分の一も表わせないだろうけど、受けるお母さんの方で、すべてを感じとってくれる。

※今日一分間スピーチをしました。とても緊張して顔が赤になってひきつって声もふるえて一分間自分が何を言ったのかも分からないほどでした。でもコイのパクパクにはならなくて本当によかったと思います。大勢の人の前で話すということはとても大きな意味があると思いました。

⇒ 自分の意見を堂々と言うのは大切。入試や就職の時も必ず面接がある。やっぱり練習がいる。

※今日は久々の休日でありました。朝八時におきてごはんを食べて休憩してから部屋のそうじ。自分のブラウス三枚をアイロンかけ。アイロンかけてけっこう大変でした。母の子のブラウスはギャザーがそでの所に入っていて、だけどもうそろそろ自分の事は自分でやらなきゃいけない時期なのでがんばってアイロンしました。お昼ごはんは自分でサンドイッチを作りました。ハムとモッツリをはさんで卵をはさんで、たいした具はなかったけど前作った時はまずくて、今回もきっとまずいかなと思いきや、お母さんは「このサンドイッチ、悪いけど、まずい」と言い、私の心にぐさりとナイフがつきささった。





学年通信 わんぱく PART2

板中3年 5月16日(木) 41号

テストの範囲の発表は明日くらいになります。中間テストに向けてスタートです。

独り言

今日(15日)ねんりんを休んだら、Kさんに「先生、今日ねんりんは？」と聞かれ、帰りの学活の時には、森口先生の命を受けたNさんが「先生、今日ねんりんないですか？」とたずねに来た。やっぱり休刊はいかんと思うことしきりでした。

※きのう(14日)、今日(15日)と大きなことがあった。三つともが今年度の国内十大ニュースにえらばれるんじゃないかと思う。みんなもすでに新聞やテレビで知っているだろう。

(1) 信楽高原鉄道で満員列車が正面衝突し、42人死亡、464人かけがをした。(十四日、午前十時四十分頃)

(2) 横綱千代の富士が引退。国民栄誉賞、三十一回優勝、通算1045勝、53連勝などの輝しい記録を残す。夏場所三日目の取組終了後に発表。

(3) 安倍晋太郎元外相・自民党幹事長が15日死去。六十七歳。この三ニュースはみんなにはどこかこない人がいるかもしれない。大きな事というのはなぜか続いておこるように思う。

あゆみより

※今日AちゃんとBさんと一緒に帰っていたら、前からへんなおじさんが歌うたいながらこっちにきました。そのおじさんも自転車にのってすれちがうとき「べっぴんやのー」といいました。そしたらAちゃんがふりむいて「ありがとう」と叫びました。

※今日お母さんが、じいちゃんの検査につきそうために一日いませんでした。だからお母さんのかわりに夕ご飯を作ったり風呂もしたり、洗たくしたりして疲れました。でもお母さんは毎日こういう事をして大変なんだなあと思いました。⟶やってみてはじめてわかる、やカラ言う人は、お母さんの家事も手伝え。

※今日あゆみを書いていると、お母さんが部屋にやってきて、あゆみを読もうとしたので隠すと「先生の通信だけ」と言い読みました。読んだあと、これどんなこと書いたんと結局私のあゆみを読むことになります。でも私は読ませないで口で言いました。⟶いかん、これから、通信もていねいな字でかこうと思った。しかし名近くの人の通信をみると、どうしても雑になってしまう。佐野先生や後藤田先生、阿部先生、みんな字上手ですよ。あっ、忘れていた、森口先生も。

県中・高校武道大会

(徳島新聞)

第二十二回県中学・高校武道大会(県ライオンズクラブ主催、徳島新聞社など後援)が十二日、徳島市内の県立中央武道館で開かれ、柔道、剣道、弓道の三競技に、県内三十中学校、二十八高校から七百三十人が技を競った。

【柔道】中学団体①阿波②板野③藍住、吉野▽同個人①山辺功(藍住)②渋谷充省(板野)③荒秀人(阿波)、大隅智志(北島)▽高校団体①徳島商②阿波③城ノ内、鳴門▽同個人①平田裕喜(徳島商)②近藤秀作(城ノ内)③前田篤志(徳島工)、井上正志(徳島市立)

た、三人だったから笑えたけど、もし私一人だったらかなりこわいもんがあると思います。⟶あたりまえです。バカなこと言たりしてはいけません。要注意ですゾ。

※今日の理科の実験をしたのだけど、とーってもおもしろくて実験するのが大好きになりました。特にKくんがリトマス紙をなめて「今日は中性じゃ」とか言ておもしろかったです。他にもあゆみには書ききれないくらいいっぱいありました。そして私はKくんとは同じ組になるのは初めてで話したのも初めてだったのでKくんの性格がよくわかりました。⟶中性だ～。とんなんかな あ。人体は中性なんですか？ で、K君に聞いてみたら今日は、ひや汗が出たので酸性といっていました。

※C組のN君のあゆみに出ていたクイズ。ただし「笑っていとも」を見た人はわかる。

(1) 肉にあって魚にない！ 葉っぱにあって木の実にない。サザンにあって、ユーミンにないものは。

(2) 交差点のこの○のところに何を買いに行ったでしょう。

(3)

まきちゃん	さちこ	なんてん	?
0m	3m	7m	10m

全員正解の人の中から抽選で三名にポカリスエット、というのはウソ。しかしみんなわかるか？ 先生はもちろんわかりませんでした。

資源ゴミ回収のお知らせ！

16日～18日の3日間、資源ゴミ回収を行いますので一人一回は、ご協力おねがいします。

(新聞と雑誌は別にしておいて下さい)

生徒会一同より

学年通信 わんぱく PART2

板中3年5月17日(金) 第5号

「ふるさと」を学習しての No1 です。心して友の意見に耳をかたむけて欲しい。

丸岡忠雄「ふるさと」を学習して

※今日の5・6時間目に公開授業がありました。「ふるさと」という詩…。自分のふるさとも必死でかくしていこうとする！これはやっぱり差別している人がいるということです。ふるさとを言うと差別される。ふるさとを言うと、だれもかもに去られてしまう。だから言えない。最後にせの先生が話してくれました。丸岡さんの友達が首をつったこと。指がちぎれてしまったこと！ここまでしても、とれがいけないことかもわからないのだろうか？人が死ぬというのは大変なことなのに…。そういうことに気付かずに…。差別によって何人もの人が死んでいくのに、差別している人は責任をないと思っているでしょうか？やっぱりおかしい。こんなままではいけない。この問題を本気で取り組んでいきたい！

※今日資料を学習して本当にふるさとをかくさなければいけないというのはいやなことだし、ずっと心につっかえると思いました。Iさんが勉強してないから差別したり恥となるとか、ぼくらは勉強できるしだから真剣にしたいとか言っていました。その時思えのは国に対しても腹が立ちました。憲法にも人権の尊重とか平等とか書いてあるのに、こんな大きな問題に無関心だったことです。今はだいぶよくなってきているとは思うけど、なんかそれは心の中にしまって言わないからそう思うしかないかなとも思えます。もっと多くの人々に、この公開授業みたいなものをやってほしいし、見に来てほしいなと思いました。又そういう所があれば、せひ見に行きたいなと思いました。

ぼくは、ふるさとは、ぼくらの思い出深い土地であって、何よりも心強いし、ぼくらの最高の場所なのに、そのふるさとを言うことによって差別されたり、自分も苦しめてしまうような、こんなふるさとはいらんと思わせるような場所になってしまう。どうしてふるさとの土地で差別するのか。本当にはがいい気持がしました。

※今日の学習はよかった。丸岡さんの気持がよくわかった。ぼくは話の中の人物を自分かこの人の立場になったらどんなにつらいだろうと思うことがある。前の道徳の時間、話を読んで本当に涙が出そうになった。ぼくは涙もろいから、こんな話を聞いたらすぐポロッとでてくる。それもいつもあくびをしたふりをしてごまかしている。先生も必死になっていたからよくその気持がわかった。道徳の時間(公開・全体授業のこと)が終って友達が言った言葉「あーねむたかった」この言葉を聞いたとき、ぼくは「なに!? 今なぞゆーた。ねむたい? 今なにしょったんな。このタコ。お前、今、先生と一緒に勉強したんちゃうんか。どついたろかいな。」と思った。ぼくはガックリきた。ほら人間やけしねむたいときもある。だけどあの時の真剣な顔の先生を見たらそんなこと、おこらないはずだ。

※第二回公開授業があった日(むずかしかった。)今回の全体授業もいつもと同じようなものになってしまった。いつも一部の子が発表する。自分の意見を言いたい子、関心のない子、いろいろな子がいると思うけど、いくら心の中で思っていてもなんにもならないと思う。良い事でも悪いことでも口に出さなくてはいけないと思う。人がしてくれる。言ってくれるのを待っていてはいけないと思う。自分の口で自分の心の中にある本音をいわなくてはいけないと思う。つらいことがあるなら、友達に言っていっしょに考えていけばいいと思う。つらい思いのままで公開授業を終ってほしくない。どうすればみんなが自分達の思いも言えることができるのだろう。こんなことは高校へ行ったら絶対にしないと思う。この中学生のときにきちんと勉強しておかなくてはいけないと思う。「あの時やっておけば…」とかって絶対に後悔してほしくない。私はその為にどうすればいいのだろうか。本当のみんなをさらけ出してほしいと思う。そしてそれができる公開授業にしたいし、みんなと一緒に考えていけるほど勉強して、いろいろな知識をつけたい。

先生の思い

※同和問題学習のあとのプリントに、自分の苦しく切ない思いを、そのままに綴ってくれる自分の心の奥にある差別心をみすえ、そんな気持を憎悪しながらも洗いきれない本音を書いてくる。そんな人が急激にふえてきている。今までふたをし、開けたことのなかった部分を、見つめはじめた。建前だけではいけないことに多くの人が気づいてきた。建前だけでは少しも議論は深まらず、自分のことととらえられず、進歩も発展もない。又本音ばかりでもどうにも動かなくなる。

大切なことは、本音の中にある自分の弱さを認識し、互いに同じ人間としての弱さや苦しみを知ったうえで、それを見えようと、スクラムを組んで共に

学年通信 わんぱく PART2
板中3年5月17日(金) 43号

「ふるさと」学習 No.2

苦しみながらも人間の強さや、やさしさを信じて頑張ることだと思う。自分の本音を凝視し、それを越えようとすることがスタートでなければならない。「峠を越えて」行きたい！今の峠はどこまで本音で自分もさらけ出していけるか、ということだろう。

自分をさらけ出すのは、そう簡単ではない。それどころか大変なことである。何がそれを可能にするか、さらけ出した自分を支えてくれる仲間がいるか、さらけ出した友もどんなことがあっても支え続けることができるか、それしかないと思う。その為に実践している公開授業なのだ。

※先生達も、先生自身も、今少しずつ変わりつつあることが自覚できる。よく「子どもに（つまりみんなに）教えられる」という言葉をつかう。本当の意味はわかっていなかったと思うが今それを実感しつつある。みんながら本音の言葉がでてきたとき、それにどうこたえ、どう同和問題学習にとりくんでいくのか？そんな重い気持のなかで、なにかが見えはじめている。みんなと一緒に苦しみ考えることができていきそうな気がする。それらは昨年の「私の目を見て」から始まった。なかなか100%の人が同じ歩調にはなりにくい。しかし先生もみんなも、一歩ずつ進んでいこうに思う。本音が出てくることで、みんなと先生が同じ土俵に立てた、そう思っている。ある先生が「今まで、授業は上手にできればと思っていた。しかし、この子ども達の思いを知って上手にする必要はない。自分をぶつけていくことだと思った。正直いって、初めの頃は公開学習は、一種のショーのようなものだ、と思っていたが、そうではない。公開授業によって、みんなが同じレベルで考えていけるようになった。性根をすえてかからねば…と思う」といった意味のことを言ってくれた。先生も同じように思う。そして、この先生の言葉に元気づけられている。

※丸岡さんが自分のふるさとを語ることができるまでに、三年近い年が経っている。そう簡単に自分の思いを、多くの友の前ですべて出せるものではない。「言いたい、言わなければ！」と思いつつ手が届かない現実がある。その思いも知り、わかることも、又大切なことだ。今すぐ言えなくてもいい。しかしゆっくりと確実に、言える自分に近づいていきたい。そのためにも、みんなと一緒に、本当に一緒になって感じ、考えていく。

※情熱や誠意は必ず通じるものだ。もしも、公開授業でゆむくなった人が出たとしたら、先生達は、まだその力がなかったと考えていく。しかし一方には授業を参観し、全体授業では当事者となる一人一人の情熱や誠意がある。双方の思いが一致してこそ本物になる。同和問題学習は教科や英語ではない。今どう思っているか、どう感じているかどうしたいのかを問われる。各々が胸のうちにあるはずのものだ。それを出していく。何度も言うように手を挙げるのは、むずかしいものだ。しかしそれを乗り越えねば話にならない。発言している友を傍観者の目で見ることあるまじき、恥ずかしいことだと思う。

あゆみより

【アルバム写真撮影】（さすがにみんな緊張していた。女子なんか髪をとくのに必死。さて効果はあったか？）

※今日卒業アルバムにのせる写真をとりました。N君とN君が笑わせるのでなかなか写真がとれませんでした。二枚とも笑っていたような感じがします。N君はN先生に笑わされたと言っていました。卒業アルバムに、ぼくとN君だけが笑っているような感じがします。⇒頑文字で書いたら、Nばかりになった。N君達がすましているのを見たら吹き出すところでした。

※今日写真をとりました。先生が笑わすので顔がひきつりました。先生が終わるまでいて笑わしてやろうと思ったけど理科があったので行きました。くやしかったです。

⇒へェー、そんな事があったのですか！…フーン。

◎ということで撮影は終わりました。当日休んでいた人、うつせなかった人、あまりにもあまり…にうつった人は後日再撮影します。日は未定。おって連絡します。

※四名のあゆみを見て、先生が思ったことを書き出したが、みょうになってしまい、うまく思っていることを表現できない。なにか、いっぱい書きたりない気がするが、とりあえず今回はふくらしておきます。このあゆみにもみられるように、いろいろなことに対する「怒り」を大切にしていきたいと思う。怒りは我々を支える一つの柱になる。

学年通信 わんぱく PART2
板中3年5月17日（金） 44号

1日おくれのテスト発表
時間をかけたものの勝ち!!

中間テストの時間割・範囲の発表です。

◎今でも時々「先生、実力テストの方が大事で、中間テストや期末テストはそれほど大切ではないでしょ」という人がいる。思いちがいもはなはだしい。今やっていることはりっぱな入試の範囲です。社会や理科は三年生の分野が確実に1/3は出るし、他教科はもっと多い！例えば数学は三年生で習うことに関連したものが半分はある。今やっていることを二度とやり直しをしなくてもすむように、中間テストにがんばることは、りっぱな受験勉強である。受験勉強とは授業とは別に、一、二年の復習をすることであると思っている諸君、感違いだけはしないように。

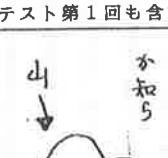
※先生方のいきごみもすごい。たしか昨年のことだった。社会科で「訂正ノートを出さなかったら半ゴロシにする」というすごいのがあったが、この前三日へ行ったら黒板に「訂正ノート、明日提出。出さない人は首しめる」とあった。社会科の先生すごい。B先生は「先生、ワシでないよ、ワシでない。シャレにもならん」と言っていた。A先生も心あたりがないようす。さては、生徒諸君の作文か？

中間テスト時間割・範囲

日	時	教科	範囲
24日	1	社会	・進級テスト、第一回実力テストの◎の中より各一題、計二題をだします。配点は３０点ぐらいで、問題はそっくりそのままです。 ・教科書　P8~P27
	2	数学	・教科書33Pまで。 ・数学演習をしっかりやっておくこと。
25日	1	国語	・教科書「鈴の鳴る道」「車掌の本分」「動物の文化的行動」 ・国語の学習 P1~P5, P9~P12 ・授業中学習したプリント類。 ・漢字は、範囲内すべてよく勉強しておくこと。（とくに、漢字の学習で勉強しておくこと。）
	2	理科	・教科書　P94~P110 ・ノート　P2~P17 ・探求の理科　P1~P8
	3	英語	・Lessson 2 の終わりまで。（P8まで） ・ワーク　P17まで ・各プリント。実力テスト第１回も含む。

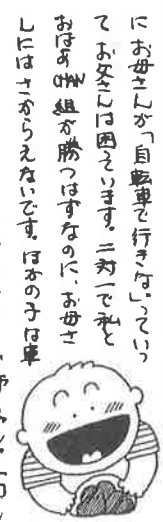
あゆみより

※今日ほとんど家に帰る途中で初めてみたものがある。何というか知らない。



より少し上に雲があるのも見た。山の頂上から見てみたいなあと思った。▶板野ではめずらしいですか？山でよく見かける。仙人でもいきそうな気になる。

※今日朝お父さんが送ってきてくれました。雨の日に送ってもらったのは今日で二回目です。いつもおばあCHANは「おくってやり」って言うのにお母さんが「自転車で行きな」っていってお父さんは困っています。二対一で私とおばあCHAN組が勝つはずなのに、お母さんにはかなえないです。ほかの子は車で送ってもらえるのになぜっていうとお姉ちゃんが一回も車で行きませんでした。お父さんが「迷ろうか」って言ったのに友達と自転車でいきます。熱があるのに学校に行くっていうし、私とは全然違います。私は自分の体のことは分かって休むべきで無理はしないし、「おくろうか」と言われれば先に車に乗るなどしています。お母さんに言わせれば、「おまはんはたるんどる」になるけど、私は、お姉ちゃんは筋金入りの頑固者、私は人の行為を無駄にしない素直な奴だと思います。お母さんに言わせれば「わがまま」って言葉もあてはまります。▶うーん、困った。先生ほどちの味方もできません。ただ素直かどうかは…。お母さんの方が強いのは先生チも同じです。



※今日朝は八時におきました。今日は部活が休みなのでゆっくりしようと思ったけど美術の宿題があったのでやりました。さっきらんぼを置いてまわりに英語をかきました。今日はうでの上の方が痛くて痛くてたまりません。きのう体育の"ななめけんすい"が67回ってしたいつもの腰の倍の太さになってしまっています。うでをまっすぐにあげられません。あした自転車にのれるでしょうか。おばんも持てません。困りました。▶もう大丈夫ですか？神経ったる証拠？それとも日頃のたんぱく不足？さて、どちらでしょう。

学年通信 わんぱく PART2

板中3年 5月18日(土) 45号

ゆりん用「カット」 暇なとき にたのみます。

独り言

※二Aの公開授業、そのあとの全体学習と充実した時間がもてた。みんなの熱気が先生の方をもどんどんと伝わってくる。二年生の時とくらべて、むしゃ確実に進歩してきた。それは同時に、先生達自身の進歩だと思う。みんなにつっかれ、つっかれしながら大きくなっていきたいと思う。先生達はどうなのかということも、きおう言おうと思ったが、みんなの気迫を感じ、次の全体学習の時にまわすことにした。南八十五名(十三)八名で、互いの思いをぶつけ合う場になってきた。一人の傍観者も出すまい。

※中間テスト前ということで、試合を直後にひかえている部以外は、活動は中止。テスト勉強に専念してもらう為だ。中間テストは時間をかけてとりくめば必ずその成果はあがる。自信をもって全力を尽そう。あそびまわらんように。「土曜ワイド」なんか見たらいけません。

※今日は久しぶりの五月晴れという気がする。さわやかで気持がいい。こんな日に、山や海や川へ行ったら気持いいだろうなあ と思いつつ時間がとれないのが残念。みんなは勉強。先生は仕事。

あゆみより

※給食の時のビデオ、一回本番を見ているのにとてもおもしろかったです。給食、食べるのも忘れてついテレビの世界につかってしまいました。台本とおにはなったセリフがどんどん飛び交ってそれがまたおもしろい言葉だったからみんなに受けたのだと思います。

⬇あれは本番を見ていなかったらおもしろかった。ビデオではちょっとセリフがききとりにくい点があった。又、いつの日にか同窓会の時にみてみたい。それぞれの間のテープの管理責任者は森口先生。

※今日朝学校へ行く途中、近所のおじいさんにあえ、「私が「おはようございます」と言ったら、おじいさんも「おはよう」と言ってくれて、「もう何年生?」と聞かれたので「三年生」と答えると、「三年生か~三年生っていったらわしら兵隊に行っとった頃やなあ」と言っていました。私達みたいな体で兵隊に行ったなんてやっぱり戦争はむごいものだなあと学校にてきそう思っていました。

⬇先生の親の代、みんなからいえばおじいさん達の世代がそうなる。先生も戦争は知らない。そしてもう先生が戦争に行くことはまずないだろう。しかし、先生の子や、みんながもし戦争に行かねばならない事になれば、死んでも反対をする。

※今日数学の時間、音楽室から"森のくまさん"がきこえてきました。私は一瞬耳を傾けピアノの音を聞いていました。すると、失礼ですが、森口先生の姿がうかんできました。

⬇失礼ですがーというところが、おくゆかしくてよろしい。先生たちの場合はそんな遠慮なんかなくストレートにうかんできてしまう。はたしてどちらがいいのでしょう…。

今日、朝から雨なので朝の学習いくのをやめようと思っていたんだけど、続けなければ意味がないと思って、雨の中、行きました。そして社会をしました。みんなより一つ勉強したと思いました。これからも続けて朝の学習に参加していきたいと思います。

⬇朝の学習に参加することによって一つだけ得をした。プラスになった。そんなつもりの勉強でいい。一年間続ければ大きな力になってくる。先生たちも頑張ってい。

※昨日はS君が休んでいたけど、今日は来ていました。だから班の中で昨日のように男一人ではなく二人だったのでなんだか理科の実験のときは本当にうれしそうでした。そして一人大きな声で「実験、実験!!」と節をつけて陽気に言っていました。それから昨日はマグネシウムをにおい、今日は直接塩素のにおいをかがせました。鼻がいたいようでしたが、S君に「どんなにおいがしたん?」ときかれて「塩素のにおい」と答えていたのには、すごいと思いました。塩素のにおいは、季であおぐようにしてにおうのが本当で、直接におうのはA君ぐらいだと思いました。

⬇塩素や直接においたらいかん。昔、硫化水素を直接かがせてしまって、目むいたことがある。実験は先生のいうことをよく聞いてからやれよ。でも、実験はたのしい。

⑥遠い先のことを考えるより今、光り輝いていたいと思う。

持采は今のつみ重ねの上にあるのだから、今輝いていなくて光が輝くはずがない。

学年通信 わんぱく PART2

板中3年 5月22日(火) 46号

2日とばしてしまいました。3BのNさんに、きびしゅーさいそくされました。

きびだんごは安政三年創業。
歴史ある和菓子です。
甘い夢を少しずつ、お早くお召し上がりください。
※疲れたときは甘い物がよいと。
昼休みにコーヒーかお茶で

。こんな紙が三年生の先生方の机上に置かれ、上に「きびだんご」三コがのっていました。

。その少し前、「佐野先生、安政三年って、いつ頃ですか？安政の大獄の頃ですか」と豊田先生の大きな声。何事!?と佐野先生「エート、安政大獄は一八五八年じゃけん、安政何年かなあ。ちょっと待っとよ」と席を立って調べに行き出した。あわてた豊田先生「あっ、あ、いいんです。いいです。すみません……」

。何故、豊田先生の質問が出たか？

。「きびだんご」の箱が先生の机の上にあった。豊田先生の大好物だから、開ける前にじっくりと包装紙を見ると、「安政三年創業」とあった。「これはすぐにはおけないワ」と思った先生は場所柄もわきまえず大声を出して聞いたという訳。その執念に感心するやら、あきれるやら…。「もうアホらしい。先生、ねんりんに書いとよ!!」と佐野先生。（ちなみに大獄は安政五年でした。）

。豊田先生は、ねんりん初登場のような気がするが、にぶくおもしろい。S先生やM先生もこのところ顔色なし。まわりを固まれて、先生は、先生は……。

※明後日から中間テスト。勉強はできるか勉強は!? 朝の特訓を見ていても、大半の人がかなり真剣にとりくんでいるように見えるが、中にはまだボーっとしとる人もいる。今日も帰宅後かなりの時間がとれるはず。気合いを入れて頑張れ。二時間半ぐらいで「あー今日はよおけした」とかいて満足しているようではダメですよ、T君。

ちょっと楽しい
あゆみより

※やー三日も書かないですいません。資源ゴミも終、てひと休みの今日も塾があり上板中の友達とてこへ行っているとなんと校長先生に出会った。下の絵のようにいつもと同じ灰色の背広に、実はスーパーの買物袋（だったと思う）を下げていた。あくまで紳士のような校長先生の意外な所を見た気がしたが背広に袋はやめてほしかった。かといってジーンズにポロシャツはもっといやだが…。

そりゃ校長先生やて家に帰れば（帰る途中でも）家の手伝いくらいはするでしょう。きっと奥さんにたのまれたんでしょうな。ひょっとすると風呂のそうじもしているかもしれん。みんな家に帰れば同じこと。ジーンズにポロシャツ姿も見てみたいような、やめてほしいような……。

※今日いのこりで社会の再テストをして100点とるまでいなしてくれませんでした。おまけに森口先生は「勝手にいんだらあかんぞー」と言って、そうとう気けんが悪そうだったので、みんなふるえあがっていました。

▼テスト前だから森口先生も、もえにもえているのでしょう。いのこりまでしてくれるのだから、みんなも必死でやらないかん。気けんが悪かったのはどうしてかー先生もわかりません。

※今日はよく寝て頭の中がすっきりしました。時間がたつにつれて頭がくさったように何かがたまってきました。起きてすぐ勉強するのが勉強のプロだなと思いました。▼いいことを言う。「勉強のプロか、みんなはもう学校に入ってから九年、テスト前くらいは勉強のプロになっていい。今、板中三年に何人勉強のプロがいるだろう？ 君は勉強のプロか？」

※今時間割をしながら気づいたんだけどな、なんと明日は教科が三時間もあります。いちばんきらいな教科が一日に三時間もあるなんてとてもうれしくて涙が出てきそうです。明日はちょっとしんどいけどがんばりたいと思います。▼三時間ですか……フーン。

学年通信 わかくさ PART2
板中 3年 5月22日(水) 47号

3Aの諸君、いい授業を見せてくれました。ありがとう。おとに続きます。

あゆみより

【三A公開授業・全体授業より】

※今日の公開授業はいつもと違っていました。一つはみんなが静かなことも言わず、本当のことを発表していたこと、手を挙げる人数がいつもの二倍くらいになっていたことと、本当によかったです。

※今日の公開授業は、本当にすばらしかったです。私の心の中も自分の事のように思えるようになって、すごくあつくなりました。三-Dの公開授業の時もどんどん自分の考えを発表したいです。

※今日の三Aの授業はよかったと思う。D組の大伏君が熱くなったと言っていたけど、私もちょっとなんか熱くなりました。今日が一番よかったと思いました。みんなだんだん積極的になってきているので、私も頑張って勉強していきたいです。

※今日の公開授業は一味も二味も違うものでした。みんなが本当の自分の心の中にあるものを言い、みんなと一緒にたたかっていこうとする意欲がとてもわかりました。今度の授業は私達なので、今日やった授業よりもっと深い授業をしたいです。

※今日の研究授業は今までよりすごく、ほんとうに差別をなくしていこうという感じで、考えたり、話し合ったりしました。けど、私は一人ひとりの意見を聞くたびに気が重くなった。私は今まで知らず知らず差別して人を傷つけたことも反省したいしまたこれからは差別をなくしたいという強い気持ちを生み出していきたい。

※今日の五、六時間目の研究授業はとてもよかったと思います。特に六時間目！みんなそれぞれの心の中の思いを発表して、みんな一生懸命で！中には、たくさん涙をうかべている人もいました。私もSさんやIさんやNさんの意見を聞いて涙が出てきました。みんな私と同じことを思っているんだなあと思うと自然に出てきてしまったのです。私も手を挙げて発表しようと思いました。でもいざとなると手が挙がらなくて、手が重く感じました。「勇気を出して手を挙げなければ…みんなのように意見をのべなくては…」とは思うのですがやっぱりダメであがりませんでした。そういうふうに悩んでいるうちに一時間終ってしまいました。でも私の言いたかったこと全部Iさん、Sさん、Nさん、Eさんが言ってくれたのでよかったです。これでもし、私と同じ意見が出ていなかったらずっと後悔しなければなりませんでした。次回からは頑張って発表したいと思います。

⬇

以上六名のあゆみをのせました。

三Aの授業、そのあとの全体授業と、又一歩前進したなという思いも強くしました。前にも書いたけど本音で語ることができるようになって、新しい段階にすすめるのだろうと思う。「勉強する」というよりも、むしろ友達と語りあう、意見をかわす、そのことによって考えていく、そういうことだろうと思う。

最後の人のような考え多いと思うのですよ。でも発表している人にしてみたら自分の意見がみんなに受け入れられているかどうかよくわからない。そういう不安をもちながらがんばって発表してくれている。同じ意見でも、そういう人がどのくらいいるのか、これはやはりまわりの人が「私も同じ考えです」と言っていかなければわからないことでしょう。同じ考えでも、どんどん意見を言うことは、仲間をつくるうえで欠かせないことだと思う。

【ちょっといい話】

今日、部活で阿部先生がとてもいい話をしてくれました。自分の心の中だけにとどめるのはもったいなくて、誰かに聞いてもらいたくて…だから別に書きます。

ある学校の隣上部には幼稚園親を事故でなくして、施設から中学校に通っている子がいる。もちろん親がいないからジャージやシューズを買だる余裕もできない。唯一持っているユニフォームとスパイクで大会に出場する。スパイクはヒモが切れてボロボロだけれども、その子はやっぱり種目で3位以内には入り、優勝する時もある実力を持っている。それでジャージやシューズの買ってもらえない、その子に寂しい思いをさせない為に、チームメイト達は全ての大会には全員体操服と通学ぐつで出場する。そんな内容でした。どこの学校か私にはわかりました。その学校には県でトップレベルの子が何人かいて、中には全国レベルの子もいます。そんなすごい所なのに、なぜ体操服でや来るんだろう…と前から疑問で、少し変に思っていましたが、先生の話を聞いて、そんな自分に腹立って、親に何でもねだる自分がなさけなくなりました。人は外見だけではないんです。その人の内面も知らないのに色々言うのは人間失格ではないでしょうか。私も、内面は素晴らしい人になりたいです。

学年通信 わくわくPART2
板中3年 5月23日(木) 48号

みんないろいろなことを考えている。考えることができている。うれしいなあと思う。

いっしょに考えたい

あゆみより

恐い人とか、悪いことしている人を不良と決めつけてしまう。おちこぼれは相手にしてくれない。厳しい現実をあっていまの社会には自分勝手は通用しない。まともな所へ入るため勉強する。勉強できたって校則やぶっちゃね。

こんなことよく考えるんだ。同級生も見ていると、こう思えてくる。

サラ、ネクタイしない。したって短い。名札、えり章つけてない！スカート長い。くつ下白じゃない！セーラー服もしぼる。短かいの着る。パーマかける。ノーヘル。くつ。男子。カラーつけない。名札、えり章つけない！友達の学生服。くつ。ノーヘル。

校則やぶったって楽しくはない。やぶったって、かっこよくない。あたりまえのことしてなきゃね。自由もそりゃ欲しいけどさ。先生はどう思いますか？

↓校則を守る。規則を守るということは、精神的な面まで抑圧を受けるものなのかどうか。規則は受け入れても、心は大きくはばたりていい。自分の生き方の中に、校則を超える崇高なものをもっていい！ネクタイをつけないこと、カラーをつけないことは自分にとって一体何であるのか、自己主張とはどういうことか、自分の存在感とはどこにあるのか、そんなことも考えてみたいと思う。

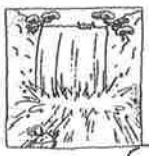
「落ちこぼれを相手にしてくれない厳しい現実」――たしかに一方ではそうであるが、又そうでない現実もある。人を人として見、評価しようとしてくれる人も多い！

行動は許せなくても、そこに至った感情、思いは万人に共通することもある。共感できることがある。そんな思いを支え合う仲間があればと思う。

今日、室にふうせんの束が飛んできました。聞いた話によると、最近はふうせん飛ばすも環境汚染になるそうです。理由はふうせんがほんで海におちるとカメやイルカが王子と間違えてそれを食べ、胃の壁にへばりついてとれなくなり食べた王子も消化できなくなって死ぬそうです。飛んでる時はキレイだけど、やっぱり動物が死ぬのイヤだなあって思いました。

↓最近よく問題になっている。学校でも、ふうせんをとばすことをやめるようになったところが多い！海にすてられた必ニールなんかもクラゲとまちがってカメが食べて死ぬと聞いた。やっぱりふうせんもやめないん、コマーシャルでないが「地球にやさしく」か、結局、人間にやさしくとつながっていくのだろうから。

・今日から交通部で朝の立哨をはじめました。本当は五月はしないはずだったけど先生のところに言いに行って五月いっぱいは、ぼくらがやります、ということで今日から始めました。五月いっぱいは交通部の部長副部長、他二人で、毎朝七時四十分から八時十分までの三十分間やることになりました。あいさつをしながら、あごひもとノーヘルの注意をしながら呼びかけているんだけど、実際には、ほとんどの人に無視されてしまいました。そのようなことには少し腹が立ちました。頭を下げておねがいしながらやっているのに無視されるのは、やはり少し情なく感じました。実際に注意してやってくれる人数の方がとても少ないです。学年別にいってみると一年生は入ったばかりだから少ないけど、二年生あたりからふえてきて、三年生でも一部の人が守れていないようでした。朝早くから起きて学校に行く立哨するのはつらいけど、五月いっぱいがんばって、少しでもいいからへらしていきたいと思います。



・ぼくはこの頃少し不安に感じる事があります。交通部で朝の立哨もしていると、ぼくらが注意するのはあごひものこととヘルメットの着用のことだけだったけど、毎朝先生をみているとシートベルトをしていない先生がいるということなので、部長の竹若君と話し合ってみて、今日からシートベルトしていない先生も調べるということになりました。これはぼく達の勝手な行動のようですが、もしものことがあれば、なんかの役に立つだろうと思うのでがんばってみたいと思います。……この活動の成果がどんどんあらわれてきているのでうれしかったです。今までは頭下げても、無視するか、頭を下げて、そしゃくするくらいで声に出してあいさつしてくれるのは少数だったんだけど、今まであんまりしてくれなかった人がしてくれたりすると、やっぱりうれしいです。全体的にみると、この前はじめたときよりも、だいぶふえてきたみたいだし、あいさつを返してくる回数もふえたし、あごひもとヘルメットの(違反者は)きのうは114人で、今日は92人となっとず(減少しつつあります。この調子であいさつのできる子がふえてノーヘルとかがへってくれるのが今の願いです。

↓コメントをかくとこうがなくなったので次の47号に、関連したことを書きたいと思う。ともかく、自主的な活動というところがいい。三年生は、仲間の一人として必ず協力だ。

学年通信 わんぱく PART2
板中3年5月23日(木) 49号

テスト勉強 頑張れ!!

【48号の続き】

先生方知っている限りでは、このような自主的な活動はじめてだし、これを機にさらに運動を盛りあげたい。朝早くきて、頑張ってくれている人がいる一方で、三年生が一ヘルで手気でおきるのは困る。みんなの協力というのは、まず、ヘルメットを着用して交通ルールを守るところからはじまる。この交通部の運動をきっかけにして他の部も積極的にがんばってみよう。

先生たちもシートベルトの着用、心していきます。

	自転車	ヘルメット	シートベルト
20日	84人	20人	1人
21日	76人	6人	3人
22日	79人	13人	6人
23日	71人	11人	4人

交通部の4日間の調査結果です。

スナップ

「きびだんご」のその後

※きびだんごの安政三年でわいた次の日の昼前。豊田先生が席を立ち「きびだんご、きびだんご…」と言いながら、森口先生の机の上をひっかきまわしていた。そして次は佐野先生の机の上…と順にまわっている。腹へって腹へってたまらんようになって"もしやきのうの、きびだんごが残っているのでは…。もし残っていたら、コリャといただいてやりましょう…"と思って捜してあるいたらーいろと想像してみ、腹かかえ笑った。で結局は一コもなくしょんぼり自分の席へ。一部始終を見ていた小野寺先生(実は、豊田先生は三年間小野寺先生に教えてもらい、担任までしてもらったそうです。)教え子の姿を見るに見かねて、自分がもっていたおかしを五個ぐらい(どこに隠していたんだろう)を豊田先生にあげた。先生は、幸せそうな顔して、そのおかしを一番上のひき出しに大事にしまいました。

それにしても、おかしを捜し歩いた女の先生は、先生方知っている範囲では、はじめてです。

※今日、S先生、おシャーのきれいな服をきてきた。びっくりした。あーきれいな服!!と思っていたら、すぐそれもぬいで、例のピンクのに着かえた。一体何の為に着てきたのだろう…。

※体育が終って教室に帰る途中のN君、ジャージの上着を顔にかぶって「青ズキン!!」と叫んでいる。急に暑くなると、どうもイカン!

※それにしても今日(23日)は、早退者が多い。欠席者もいる。疲れからか体調を崩している人が多くなっている。テスト前でがんばりすぎているのか?明日から中間テストだけに心配している。テストは全員受けてほしいし、といってフラフラしながらの登校もできないだろうし…。とにかく規則正しい生活を心がけよう。

連絡

◎明日は中間テスト。一校時は社会、二校時は数学、三四校時は映画会です。給食はありません。午後は帰宅してテスト勉強。

◎土、日などにフラフラしてみたり、小学校へ行って28弾であそぶなど、まわりから、ひしゅくをかうような行動、まさか三年生にもなって、ないとは思うが、よく心して行動すること。

あゆみより

※今日弟がやけどをした。上の絵のように、おでこにやけどをしました。すごくかっこ悪いやけどでした。兄弟だからほくも恥ずい。→やけど、たいしたことないですか?最後の一行が気にいりました。

※なんかこの頃Yさんがへん。なんか私の手をにぎって手にチュッとするのです。それとか手をつないで走りまわったりするのです。こわいですワッ。私の事が好きなんだろうか?ゾクッ。→なにせ暑いから…。多分青ズキンと同じ心境なんでしょう。

※この頃お兄ちゃんはヒステリックで一言でも気にくわないことを言うとも〜ガミガミおこって私に用事はいいつけるし、私は一番下だからってお母さんも、お父さんもお兄ちゃんも私を使うので私は一番不幸です。それで私は「これでは私があまりにもかわいそうだ」と思って反対に用事をいいつけるとおこられてしまいました。いつもお兄ちゃんだけえらそうに言うのはちょっとはがいいです。一日だけ私の方が歳上になれたら、いっぱいいっぱい用事いいつけて、いっぱいいじめてなぶり殺してやりたいぐらいです。そのうえどつきまわして、ふんでふんで、最後のとどめに、にぎりっぺというのはうそでっーんほうやなあー、ととめはかわいそうなんでそこらでおいときます。→すさまじい。弟妹は大事にしましょう。

学年通信 わんぱく PART2

板中3年 5月25日(土) 50号

昔は50号といえば、"たいしたもの"とおもったが、今は普通じゃ。

連絡

(1) 六月一日から夏服になります。板中は、六月一日を含む一週間が更衣の準備期間になる。来週一週間は、冬、夏どちらの制服でもかまいませんが、その次の週からは夏服だけになります。

(2) 27日(月)に学級写真を撮影します。休むとスミに、ワクに入って写るようになる。体調の悪い人もいると思うが、27日は頑張ってきて下さい。(だから27日だけは冬服で登校)

(3) 今日中間テストが終了です。ホッとしたところでちょっとかわいそうかなあと思ったのですが、今月上旬にした第一回実力テストの結果を返し、第二回実力テストの範囲を手渡します。

実力第二回は、今のところ六月三日=国、英、四日=社会、五日=理、英の予定です。くわしくはあらためて連絡をしますが、さっそく今日からでもコツコツと取り組んでみて下さい。ついでに、六月十二日には県下一斉に共同テストがある。これは一日で主教科やります。とにかく三年生はテストの連続で息をつく暇もないのです。

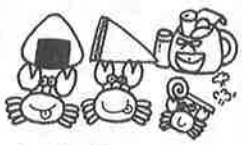
【注意】

(1) 小学校へ遊びに行くのはいいが、行って、ワルソせんように、中学生として十分慎ない。

(2) 海や川は保護者同伴が原則。特に禁漁区で釣りなどしていたらつかまるよ。絶対ソウせません。

あゆみより

※ 今日、風呂のフタを開けると、"しょうぶ"の葉も束ねたものが入っていました。家の庭にはしょうぶも何株か植えてあって、それがとてもきれいな緑色になる。今頃はよくやることです。お湯の中にしょうぶのいいにおいが広がってとてもリラックスできるので、私は、"しょうぶ湯"が大好きです。これは祖母がやってくれるもので、いつもながら昔の人の知恵には感心してしまいます。先生は、しょうぶ湯って知ってましたか?



⇒ 忘れてしまっていました。それだけ生活にうるおいがなくなったのかなあ。昔の人は、むしろ、今より貧しくて、汗まみれになって働いたと思うのに、どこかで、生活を楽しみ、自然の中に共にあるようなところがある。今の人間より昔の人がえらいのかも知れん。

※ 今日"学校へ行こう"というTVを見ました。すごい先生がいて、30で独身、だけど生徒からも信頼されていて、恋愛相談もうけたりしているんです。私はそんな先生がすごくほしいです。なんでも言える先生がいいです。けど、現実にそんな先生がいたら、みてみたいもんやなあーと思いました。

⇒ ドラマでよくもすごい先生が出るでしょう。あんなのを見ると、「あ、あれこれはマネしてみたいなとか、これはできんな」と不思議に思えて見ますよ。"日暮れて道遠し"です。

※ 今日勉強していたら、八時ぐらいお父さんが カメが道を歩いているのを見つけ 教えてくれました。見に行ったらのっそりと歩いていました。すごく大きかったので、つついたりしてみたら首をひっこめたりしておもしろかったです。道のまんなかで そんなことをしていたのでその時車がきていたら!! 今思うと何で道のまんなかでカメとあそんでいたのだろう?

⇒ そのカメはそれからどうしたですか? そのカメでも車にひかれたら死ぬでしょう。カメは無事か?

※ 数学の時間、電卓を持っている子はもってくるということになっていた。N君ももってきたけど、「N」がついていない。結局、もってきていない子にまじってかりていた。そして一応計算をすませた。計算がおわる時ぐらいに仁木先生が「ふつうの電卓には「N」が必ずついている」と言ったとき、N君の電卓をおもい出して、ぼくとN君二人で笑っていた。そして仁木先生は不思議そうな顔をして「西川と長坂のあの幸せそうな顔」とかなんとか言っていた。仁木先生はぼくたちの笑っている事柄の意味を知らないのであった。

⇒ ほんとうにわかるか、わかるはずがないだろう。ほんとうに「N」がついてない電卓あるんじゃなかろー。知りませんでした。先生の研究不足でした。でももし次に買うなら「N」がついているのにして下さい。授業でも電卓を使う時代になった。